

高知県立大学 健康栄養学部

学部報

第7号

平成28(2016)年度

「学部報」第7号発刊にあたって

健康栄養学部長 村上 尚

平成28(2016)年度のかかりの期間を費やし、各学部の三つのポリシー「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」の新たな策定作業を、本学全体で行いました。この作業は、全国の大学が文部科学省に促されて行ったものです。これらのポリシーは、すでに策定したものがあつたので、変更作業は簡単であるかと思われましたが、実際には手間のかかる作業となりました。しかし、他大学のポリシーを拝見する機会もあり、これら三つのポリシーを策定し直すことで、本学の学部教育を見つめ直すことができました。平成29(2017)年度には、これらのポリシーに合わせて教育理念と目的を変更する必要があります。

学部教育に関してですが、平成28(2016)年度までに本学部では、中学校・高等学校教諭(家庭)免許状を取得するための課程を廃止することを決定しました。現在、その手続きを進めております。平成29(2017)年度新生から、本学では家庭科教諭免許状を取得することができなくなりました。この課程は、昭和26(1951)年度に、当時の高知女子大学家政学部生活科学科が認定されて以来、生活科学部、健康栄養学部と続いていたもので、現在まで県内・県外に多くの家庭科教諭を輩出しています。本学及び、前身の高知女子大学出身の家庭科教諭の方々、及び、これまでこの家庭科教諭の養成に携わっていた教員の方々には申し訳なく思っておりますが、本学部に入學した学生で家庭科教諭を目指す学生がごくわずかになったこと、そして、衣食住を含めた幅広い分野の教育を担える教員が大学内に少なくなってしまうために廃止せざるを得なくなりました。近年、旧生活科学部生活デザイン学科と健康栄養学科の教員で、この課程の教育のほとんどを担ってまいりました。しかし、旧生活デザイン学科に所属していた教員が、異動や定年により学内に少なくなり、ここ数年のうちに常勤の教員では食の分野の教員のみしかいなくなる予定です。この状態では残念ながら、学生に責任の持てる教育を提供できません。今後は、この課程を履修中の在學生の教育を責任を持って行うとともに、栄養教諭に関しては家庭科教諭同様に、優秀な教員を輩出するように努めていきます。教員免許状更新講習においては、今後も家庭科の免許状更新講習もおこなう予定ですので、本学出身の家庭科教諭にお会いする機会もあると思います。

健康栄養学部「学部報」は、毎年、健康栄養学部の取り組みを広く知っていただくための刊行物として発行してきました。健康栄養学部には、地域の生活と密着に関わった課題に取り組んでいる教員が多く存在します。本学部報でこれら的一端をご覧いただければと考えております。

健康栄養学部の教育理念・目的

(理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

(目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

目 次

「学部報」第7号発刊にあたって	i
健康栄養学部の教育理念・目的	ii

I. 学部の記録

1. 2016年度学生数一覧	3
2. 長期在学・休学・退学の状況	3
3. 健康栄養学部教員一覧	3
4. 授業科目と教員配置	4
5. 外部資金の導入	5
6. 研究成果の公表の状況	6
7. 国内外学会等への参加	8
8. 講習会・公開講座	11
9. 地域・学外の活動	12
10. 国際交流活動	15
11. 国家試験対策委員会	19
12. 学部就職支援	20
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動	25
14. 高知医療センター・高知県立大学包 括的連携協議会 健康栄養連携部会 事業	27
15. 災害プロジェクト委員会	29
16. 高知県立大学創基70周年記念事業 特別講座（健康栄養学部リカレント 講座）	31
17. 委員会一覧	34
18. 入学試験状況の概要（2017年度）	35
19. 進学説明会・本学訪問・365日オー プンキャンパス状況	35

II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	39
2. 教育における学外施設の利用状況	40
3. 資格所得状況の概要	41
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）	41
5. 就職状況の概要	41
6. インターンシップの実施状況	41
7. 学生の海外研修等	41
8. 卒業研究題目一覧	42
9. 学生の受賞	43
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	43

III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚	47
2. 稲井 玲子	48
3. 和田 安彦	50
4. 渡邊 浩幸	52
5. 荒牧 礼子	55
6. 鈴木 麻希子	57
7. 西岡 道子	59
8. 島田 郁子	60
9. 竹井 悠一郎	63
10. 廣内 智子	65
11. 隅田 有公子	67
12. 田中 守	68
13. 沼田 聡	72
14. 彼末 富貴	75
15. 川村 真美	77

I. 学部の記録

1. 2016 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. 国際交流活動
11. 国家試験対策委員会
12. 学部就職支援
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動
14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業
15. 災害プロジェクト委員会
16. 高知県立大学創基 70 周年記念事業特別講座 (健康栄養学部リカレント講座)
17. 委員会一覧
18. 入学試験状況の概要 (2017 年度)
19. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス状況

1. 2016年度学生数一覧

() 内：男子

在学生数						科目等履修生
1回生	2回生	3回生	4回生	5回生～	合計	
41 (5)	42 (4)	41 (1)	41 (3)	0	165 (13)	0

2. 長期在学・休学・退学の状況 (2016年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7年)
0	0	0

3. 健康栄養学部教員一覧

職名	氏名	専門分野 (担当科目)
教授 (学部長)	村上 尚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
教授	稲井 玲子	栄養教育論
教授	和田 安彦	健康生態学・公衆衛生学
教授	渡邊 浩幸	食品学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
講師	島田 郁子	給食経営管理
講師	竹井 悠一郎	臨床栄養学
講師	廣内 智子	臨床栄養学実習
助教	隅田 有公子	臨床栄養学実習・地域公衆栄養学実習
助教	田中 守	生化学・栄養学実験
助教	沼田 聡	給食経営管理実習
助手	彼末 富貴	調理学実習
助手	川村 真美	食品学実験

4. 授業科目と教員配置

他学部教員・下線 非常勤・(非)

科目名	担当者
基礎科目	
健康栄養学基礎	和田安彦, 渡邊浩幸, 田中守, 沼田聡
健康栄養学応用	一色健司
社会・環境と健康	
地域健康論	和田安彦
介護論	和田安彦
食と介護	和田安彦, 竹井悠一郎
保健医療福祉論	未開講
地域医療論	未開講
公衆衛生学	未開講
環境衛生学実習	和田安彦
健康情報論実習	和田安彦
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	
生化学Ⅰ	鈴木麻希子, (非)清澤秀孔
生化学Ⅱ	(非)清澤秀孔
生化学実験	(非)富永麻理, (非)清澤秀孔
人体の構造と機能Ⅰ	村上尚
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)片山訓博
生体科学実験・実習	村上尚
食べ物と健康	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験Ⅰ	渡邊浩幸
食品学実験Ⅱ	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸, 村上尚
食品衛生学実験	渡邊浩幸, 村上尚
フードシステム学	未開講
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
基礎栄養学	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
応用栄養学	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ 栄養学	鈴木麻希子
栄養教育論	
栄養教育論Ⅰ	稲井玲子
栄養教育論Ⅱ	未開講

科目名	担当者
栄養教育論Ⅲ	稲井玲子
栄養教育論実習Ⅰ	稲井玲子
栄養教育論実習Ⅱ	稲井玲子
学校栄養指導論Ⅰ	稲井玲子
学校栄養指導論Ⅱ	稲井玲子
臨床栄養学	
臨床栄養学Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅱ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅲ	竹井悠一郎
臨床実践栄養学	竹井悠一郎, 廣内智子
臨床栄養学実習Ⅰ	廣内智子
臨床栄養学実習Ⅱ	廣内智子
公衆栄養学	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
給食経営管理論	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
総合演習	
管理栄養士総合演習Ⅰ	荒牧礼子, 廣内智子, 島田郁子, 竹井悠一郎
管理栄養士総合演習Ⅱ	村上尚, 稲井玲子, 和田安彦, 渡邊浩幸, 荒牧礼子, 鈴木麻希子, 西岡道子, 島田郁子, 竹井悠一郎
臨地実習	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	廣内智子, 竹井悠一郎
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	廣内智子, 竹井悠一郎
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	荒牧礼子, 廣内智子, 島田郁子, 竹井悠一郎
関連科目	
生活経営学(生活経済学を含む)	未開講
家族関係論	池添志乃
保育学(実習及び家庭看護を含む)	(非)川俣美砂子, 佐東美緒, 高谷恭子
衣生活学	未開講
服飾造形実習Ⅰ	未開講
服飾造形実習Ⅱ	未開講
住居学(製図を含む)	未開講
家庭機械・家庭電気	(非)宮田剛
その他	
企業実習	学年担当教員
課題研究	
卒業研究	各専任教員

5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
2015年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)）課題番号：15K16237	卵白アレルギーに対する迅速な超高感度酵素免疫測定法の開発	沼田聡		2015～2016	総額 3,900千円
2015年度学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）課題番号：15K00833	新規卵白アレルギーL-PGDSの高感度定量法の開発と低アレルギー化	鈴木麻希子	沼田聡, 田中守	2015～2017	総額 4,680千円
2016年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)）課題番号：16K21299	高知県に自生する未利用天然資源の機能性評価－抗アレルギー活性を指標として－	田中守		2016～2018	総額 3,640千円
2016年度科学研究助成基金助成金（若手研究(B)）課題番号：16K16283	発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究－東日本大震災の食事画像分析から－	廣内智子		2016～2017	総額 2,600千円
2014年度学術研究助成基金助成金（基盤研究(B)）課題番号：26281063	アグリフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築	高木万隆	渡邊高志, 菊池豊, 田中守	2014～2016	総額 11,830千円
2016年度学術研究助成基金助成金基盤研究(A)	レア・プランツのインベントリーと補完食品素材開拓のための活性評価の再構築	渡邊高志	高木方隆, 守川耕平, 渡邊浩幸, 菅沼成文, 田中伸幸, 菊池豊	2016	600千円
文科省科学研究費（基盤研究(B)）	JACC Studyによる早世死亡マーカー探索のためのコホート内症例対照研究	玉腰暁子	文部省がんコホート研究：JACC Study 班員	2014～2016	
平成28-30年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業（中期テーマ）	食用カンナの多分野活用の研究	渡邊浩幸	宮崎彰, 松川和嗣, 水上元, 岡部正彦, 田中守, 竹井悠一郎	2016～2018	総額 29,908千円
受託研究（高知県立大学）	食品の賞味期限と脂質酸化	渡邊浩幸		2016	350千円
受託研究（高知県立大学）	牧野富太郎博士ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	渡邊浩幸	田中守	2016	500千円
受託研究（高知県立大学）	生姜と体温上昇に関する研究	渡邊浩幸	田中守, 竹井悠一郎	2016～2017	3,894千円
平成28年度 高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業	ライフステージ別食事調査ツール開発を目的としたライフステージ別「食品リスト」の考案ならびに調査票の考案	荒牧礼子		2016	400千円

6. 研究成果の公表の状況

(1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Yoshiteru Akezaki, Mitsuru Kajitani, Koji Nagino, Reiko Aramaki	The effects of Hubbard tank hydrotherapy in patients who have undergone total hip arthroplasty.	Rigaku ryoho Ehime	30, 71-76	2016
Takei Y, Tanaka T, Kent KC, Yamanouchi D.	Osteoclastogenic Differentiation of Macrophages in the Development of Abdominal Aortic Aneurysms.	Arterioscler Thromb Vasc Biol.	36(9), 1962-1971	2016
Tanaka T, Takei Y, Yamanouchi D.	Hyperglycemia Suppresses Calcium Phosphate-Induced Aneurysm Formation through Inhibition of Macrophage Activation.	J Am Heart Assoc.	4(3), e003062	2016
Tanaka, M., Watanabe, H., Yoshimoto, Y., Kozai, H., Okamoto, T.	Anti-allergic effects of His-Ala-Gln tripeptide <i>in vitro</i> and <i>in vivo</i>	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry.	81巻 pp. 380-383	2016
Ngatu, NR., Tanaka, M., Okajima, MK., Yokogawa, M., Ikeda, M., Inoue, M., Watanabe, H., Kanbara, S., Nojima, S., Kaneko, T., Suganuma, N.	Anti-allergic Effects and Immunomodulatory Activity of Sacran, a Bioactive Compound from River alga <i>Aphanothece sacrum</i>	Evidence-based Medicine & Public Health.	2016; 2 e1438	2016
Aya Haniu, Takehiro Kashiwagi, Hiroyuki Watanabe, Takashi Watanabe, Yoshino Okamoto, Masanobu Suzuki and Chul-Sa Kim.	Isolation and Identification of Tryrosinase-Inhibition Active Compounds from <i>Diplomorpha sikokiana</i> .	Academia Journal of Medicinal Plants (AJMP)	4(8), 10-15	2016
Yoshimoto, Y., Ooyama, Y., Tanaka, M., Sakamoto, A.	Toe functions have little effect on dynamic balance ability in elderly people	Journal of Physical Therapy Science.	29巻 pp. 158-162	2016
Masaaki Matsunaga, Hiroshi Yatsuya, Hiroyasu Iso, Kentaro Yamashita, Yuanying Li, Kazumasa Yamagishi, Naohito Tanabe, Yasuhiko Wada, Chaochen Wang, Atsuhiko Ota, Koji Tamakoshi, Akiko Tamakoshi, The JACC Study Group.	Similarities and differences between coronary heart disease and stroke in the associations with cardiovascular risk factors: The Japan collaborative cohort study.	Atherosclerosis (in press)		2017
Ngatu, NR., Ikeda, M., Watanabe, H., Tanaka, M., Inoue, M., Kanbara, S., Nojima, S.	Uncovering Adiponectin Replenishing Property of Sujiaonori Algal Biomaterial in Humans	Marine Drugs	15巻2号, 32; doi:10.3390/md15020032	2017
Mamoru Tanaka, Hiroyuki Watanabe, Yoshinobu Yoshimoto, Hana Kozai & Takeaki Okamoto	Anti-allergic effects of His-Ala-Gln tripeptide invitro and in vivo.	Biosci Biotechnol Biochem	Feb:81(2):380-383. doi:10.	2017

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Xinyang Chen, Aya Haniu, Takehiro Kashiwagi, Hiroyuki Watanabe, Takashi Watanabe, Yoshino Okamoto, Masanobu Suzuki, and Chul-Sa Kim,	The evaluation of the synergistic effect of 3-(2,4-dihydroxyphenyl) propionic acid and L-ascorbic acid on Tyrosinase-inhibition.	Z. Naturforsch. Z Naturforsch C.	72(3-4), 119-121	2017
渡邊慶子, 沼田聡, 島田郁子, 佐賀啓子, 田中守	がん患者における食事摂取支援食導入による効果	日本農村医学会雑誌	65(4), 758-765	2016
田中守, 岡本威明	ケモカイン受容体と好酸球増多筋痛症	アレルギーの臨床	36巻14号 pp.1364-1369	2016
辻陽子, 明崎禎輝, 出田めぐみ, 荒牧礼子	非利き手による書字練習方法の検討-グリット線を用いた模写練習方法の有効性-	日本職業・災害医学学会誌	64(2), 84-87	2016
岡本威明, 平田璃奈, 田頭歩佳, 吉本好延, 香西はな, 田中守	His-Ala-Glnペプチドがマウスの抗体産生に及ぼす影響	四国公衆衛生学会雑誌	62巻1号 pp.63-70	2017
廣内智子, 島田郁子, 荻沼一男	発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究-東日本大震災の食事画像分析から-	日本災害食学会誌	1(2), 79-93	2017
岡本威明, 田頭歩佳, 中野広輔, 加藤匡宏, 田中守	ヒト好酸球の走化性とケモカインレセプター発現に及ぼす不純物PAAの影響	愛媛大学教育学部紀要	62巻 149-159	2016
田中守, 鈴木大進, 吉本好延, 香西はな, 岡本威明	3種in vitro評価系を用いたポリフェノールの抗アレルギー-活性評価について	高知県立大学紀要 健康栄養学部編	66 1-9	2017
彼末富貴, 三谷英子, 松崎淳子	高知の宴席文化「おきゃく」を伝承する	高知県立大学紀要 健康栄養学部編	66 11-17	2017
島田郁子, 隅田有公子, 沼田聡	地域に根差した食育活動を目指して-子育て応援団すこやかをあゆみ-	高知県立大学紀要 健康栄養学部編	66 19-23	2016

(2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
稲井玲子, 中山玲子, 廣瀬潤子, 赤松理恵, 北村真理, 宮崎由子, 永井成美, 上田由喜子, 岡本秀秀己	新食品・栄養科学シリーズ栄養教育論 (第5版) 3章, 5章, 9章	49-80 95-118 117-232	(株)化学同人	2016
渡邊浩幸	食品学総論 (辻英明ら編) 第3版	131-139	講談社サイエンスエディフィク	2016
渡邊浩幸	食品学各論 (小西洋太郎ら編) 第3版	64-79	講談社サイエンスエディフィク	2016
竹井悠一郎, 谷村綾子, 竹谷豊	内分泌・糖尿病・代謝内科「特集 微量元素・ビタミン不足の評価」	190-195	科学評論社	2016
渡邊浩幸	わかりやすい食品化学 (吉田勉ら監修)	128-146	三共出版	2017

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
渡邊浩幸	食べ物と健康 食品の科学（太田英明ら編集）	132-138	南江堂	2017
渡邊浩幸	食品の加工増補（太田英明ら編集）	165-168	南江堂	2017

(3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
田中守	迅速で簡便な抗アレルギー活性評価系の構築		平成 27 年度高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業実績報告書	2016
鈴木麻希子	加工食品添加無機リンの定量法の開発～リン摂取量と血中動態との関係解明に向けて～	59-63	日本食品化学研究振興財団 第 22 回(平成 27 年度) 研究成果報告書、公益財団法人 日本食品化学研究振興財団	2016
稲井玲子, 多賀昌樹	日本食育学会 第 11 回大会 大会冊子			2016
稲井玲子, 多賀昌樹	日本食育学会 第 4 生活リズムと食のセミナー 冊子			2016
永尾朱美, 彼末富貴	平成 29 年度版ファミリー日誌 「銀ブロー」	62-63, 261	全国農林統計協会連合会	2016
松崎淳子, 彼末富貴	うまいもんレシピ「鶏レバー」	6	玉手箱 Vol. 99, (社福) 高知県社会福祉協議会	2016
彼末富貴, 永野貴代美	うまいもんレシピ「新玉ねぎ」	6	玉手箱 Vol. 102, (社福) 高知県社会福祉協議会	2017
荒牧礼子	保健福祉のあり方を考える啓発事業「知るほど得する食のおはなし」	4-8	平成 28 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書	2016
島田郁子, 隅田有公子, 廣内智子	日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) による熊本県地震における災害支援活動に参加して	12-17	ふまにすむす第 28 号	2017
島田郁子	平成 28 年熊本地震における災害支援活動について JDA-DAT 活動報告	12-13	高知県栄養士会機関誌 栄養士佐はちきん第 37 号	2017
島田郁子, 隅田有公子	JDA-DAT リーダースキルアップ研修および育成研修報告	14	高知県栄養士会機関誌 栄養士佐はちきん第 37 号	2017

7. 国内外学会等への参加

(1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Reiko Aramaki	Analysis of dietary intake by lipid energy ratio stratification, Focus on young Japanese adult Women.	17th ICD GRANADA SPAIN	GRANADA SPAIN	2016. 9. 7~10
Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Tomoko Hirouch, Mamoru Tanaka, Chie Tokuhiro, Keiko Watanabe and Takeaki Okamoto	Making Recipes of Survival Food in Food Service Practicum of University Dietitian Course	17th International Congress of Dietetics	Granada	2016. 9. 7~10

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Keiko Watanabe, Takeaki Okamoto and Hiroyuki Watanabe.	Development of a Soft meat for Elderly Using Meat softener.	17th International Congress of Dietetics, Granada, Spain	Granada	2016. 9. 9
Chie Tokuhiko, Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka and Kazuko Kitamura.	Review of Evaluation Index for Nutrition Education -Case Study on Attitude and Behavior of School Lunch Officials Regarding Utilization of Local Produce.	17th International Congress of Dietetics, Granada, Spain	Granada	2016. 9. 9

(2) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
和田安彦, 勝股宥妃, 大崎 滯, 吉川千晴, 三宮晶子, 藤原礼子, 守屋望未	大学生におけるカフェインに関する知識と摂取状況	第 86 回日本衛生学会	旭川市	2016. 5. 12
渡邊浩幸, 田中守, 田部大樹, 川村真美	各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響	第 70 回 日本栄養・食糧学会大会	兵庫	2016. 5. 13-15
田中守, 高橋拓也, 川村真美, 渡邊浩幸	培地中の脂肪酸とグルコースが肝細胞のメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響	第 70 回 日本栄養・食糧学会大会	兵庫	2016. 5. 13-15
岡本威明, 黒下苗子, 田頭歩佳, 田中守, 岡野聡, 小林千悟	ビタミンEによる骨代謝の制御	日本家政学会 第 68 回大会	愛知	2016. 5. 27-29
渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡, 彼末富貴, 久次米由紀	域学共生と産学連携	第 14 回産学連携学会	浜松	6. 16-17
檜垣俊介, 多賀昌樹, 佐藤かおり, 稲井玲子	玄米麹菌発酵食品の食品への利用の一考察	日本食育学会 第 11 回大会	大阪	2016. 6. 26
森 博史, 檜垣俊介, 林浩文, 野田哲由, 安藤宏幸, 稲井玲子	小学生の成績と生活要因との関連についての検討 第 2 報 学年別の成績と生活要因の関連の傾向	日本食育学会 第 11 回大会	大阪	2016. 6. 26
安藤宏幸, 檜垣俊介, 林浩文, 野田哲由, 森 博史, 稲井玲子	小学生の成績と生活要因との関連についての検討 第 1 報 小学生全体の傾向について	日本食育学会 第 11 回大会	大阪	2016. 6. 26
入江泰正, 南崎明子, 中尾裕子, Faisal Ahmed, 吉岡広陽, 竹井悠一郎, 吉子裕二	骨芽細胞は基質小胞を介して miR-125b を輸送し, Prdm1 を標的として破骨細胞の形成を抑制する	第 34 回日本骨代謝学会	大阪	2016. 7. 20 ~23
田頭歩佳, 岡本威明, 平田璃奈, 田中守	卵アレルギーモデルマウスにおける HAQ ペプチドの抗アレルギー効果	第 63 回日本家政学会中国・四国大会	愛媛	2016. 10. 1 ~2
渡邊浩幸, 川村真美, 田中守	各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響	第 37 回日本肥満学会	東京	2016. 10. 7 ~8
荒牧礼子, 野々村瑞穂	健康寿命の延伸に向けた百寿未病の会の取り組み	第 23 回日本未病システム学会総会	福岡	2016. 11. 4 ~6

発表者	題目	学会名	場所	開催日
渡邊浩幸, 田中守, 川村真美	芳香性植物クロモジの機能性	第23回日本未病システム学会学術総会	福岡	2016.11.5~6
竹井悠一郎, 田中照佳, 山之内大	糖尿病時高血糖が動脈における破骨細胞形成を阻害し、動脈瘤形成を抑制する	第49回日本栄養・食糧学会中国・四国支部会	徳島	2016.11.12~13
田中守, 岡本威明, 平田璃奈, 田頭歩佳, 吉本好延, 香西はな, 渡邊浩幸	His-Ala-Gln ペプチドがI型アレルギーモデルマウスの抗体産生に及ぼす影響	第49回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	徳島	2016.11.12~13
沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一	オボアルブミンに対する超高度酵素免疫測定法開発への取り組み	第49回日本栄養食糧学会中四国支部大会	徳島	2016.11.12~13
谷本佳史, 田中守, 沼田聡, 川村真美, 渡邊浩幸	マウス肝細胞培養時の培地中の各種アミノ酸がメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響	第49回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会	徳島	2016.11.12~13
香西はな, 伊藤彩華, 大西律子, 中根一恵, 渡邊章子, 田中守	保育所給食のアレルギー対応における小麦代替品の提案	第12回日本給食経営管理学会学術総会	兵庫	2016.11.26~27
島田郁子, 上岡菜由, 西美佳, 宮道舞, 森野由加奈, 山中麻衣, 沼田聡	高齢者給食における喫食率向上をめざした食肉軟化剤の導入	第12回給食経営管理学会	兵庫	2016.11.27
安田春奈, 楠瀬和加奈, 吉松香絵, 坂本一美, 小谷小枝, 佐賀啓子, 十萬敬子, 廣内智子, 島田郁子, 沼田聡, 渡邊慶子, 山下元司	高知医療センター・高知県立大学健康栄養連携部会の取り組み	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
渡邊慶子, 安田春奈, 楠瀬和佳奈, 吉松香絵, 坂本一美, 小谷小枝, 佐賀啓子, 十萬敬子, 田中守, 山下元司	がん治療患者の食変化に対応したモニタリングチェックシートの開発と運用	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一	卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
竹井悠一郎, 池果音, 小野舞流, 中田拓哉, 成田小百合	口腔ケアを目的とした学童中期への間食の指導	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
猪口一也, 島田郁子, 森田陽子, 下浦佳之	広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)における食事栄養管理の必要性について	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
田中守, 隅田有公子, 沼田聡, 島田郁子, 香西はな	食物アレルギーモデルマウスのアレルギー症状に及ぼす食塩の影響.	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
廣内智子, 島田郁子	東日本大震災の避難所生活における食料供給の実態調査-東日本大震災の食事画像分析から-	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
鈴木麻希子, 山下成実, 渡邊浩幸, 沼田聡	加工食品添加無機リンの定量法の開発	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
田中守, 鈴木大進, 岡本威明, 竹井悠一郎, 渡邊浩幸	マウス脾臓リンパ球の抗体産生に及ぼすハマアザミの影響	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5
彼末富貴	伝統料理の提供に向けてー調理方法の伝承についてー	第36回食事療法学会	高知	2017.3.4~5

発表者	題目	学会名	場所	開催日
篠田知佐, 島田郁子, 森田陽子	いのちを繋ぐ食を考える～熊本地震における日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) の活動報告と今後の課題～	第30回高知県国保地域医療学会	高知	2017. 3. 5
鈴木大進, 田中守, 岡本威明, 渡邊浩幸	ハマアザミ (<i>Cirsium maritimum</i> Makino) の抗アレルギー活性とその活性物質	日本農芸化学会 2017 年度大会	京都	2017. 3. 17 ～20

(3) 国内学会研修会開催

1. 第 36 回食事療法学会

主催：公益社団法人 日本栄養士会 医療事業部

日時：2017 年 3 月 4 日(土)～5 日(日)

場所：高知市文化プラザかるぽーと

実行委員：沼田聡, 島田郁子, 廣内智子, 隅田有公子, 田中守

2. 第 60 回高知県家庭科教育連合会研究大会

主催：高知県家庭科教育連合会

日時：2016 年 12 月 3 日

場所：高知県立大学永国寺キャンパス,

大会長：鈴木麻希子

8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
地産地消・外商課栄養成分表示研修	島田郁子	高知県産業振興推進部	2016. 6. 24, 11. 28, 2. 9	高知県立大学	食品製造関係者
平成 28 年度家庭科教員免許更新講習	鈴木麻希子, 和田安彦, 川口順子, 宇野浩三	高知県立大学教員免許状更新講習実施部会	2016. 8. 22	高知県立大学池キャンパス	中・高校家庭科教諭
平成 28 年度 高知県立消費生活センター×高知短期大学連携講座「消費生活講座」食と安全 ～ 受身の「安心」から根拠に基づく判断	和田安彦	高知県立消費生活センター 高知短期大学	2016. 9. 4	高知県立大学教育研究棟	
HACCP 管理者 HACCP 講座	渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡	高知県立大学	2016. 9. 28-30	高知県立大学	高知県立大学健康栄養学部学生
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 －高齢者ケア力の向上に向けて－ 「生活習慣病の治療と予防」	竹谷豊, 鈴木麻希子	高知県立大学多職種連携による保健医療従事者の力量アップのための講座実施委員会	2016. 9. 17, 18	高知県立大学池キャンパス	高齢者ケアに携わる保健・医療・福祉従事者で資格（看護師、保健師、介護福祉士、管理栄養士、栄養士、ソーシャルワーカー等）を持っている者

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
70周年公開講座 高知県立大学健康栄養学部講師「ロコモティブシンドローム」	稲井玲子	高知県立大学健康栄養学部	2016.9.18	高知県立大学永国寺キャンパス	一般
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 －高齢者ケア力の向上に向けて－ 「チームアプローチ II」	井上健朗, 森下幸子, 竹崎久美子, 鈴木麻希子	高知県立大学多職種連携による保健医療従事者の力量アップのための講座実施委員会	2016.12.4, 17	高知県立大学池キャンパス	同上
「熊本県地震災害支援活動について」	島田郁子	高知県立大学健康栄養学部包括連携・健康栄養学部FD研修会	2017.1.17	高知県立大学	教員

9. 地域・学外の活動

(1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
「ココプラ」開設一周年記念イベント シーズ・研究内容紹介ダイジェスト「みんなで作って食べる食育へ」	沼田聡	高知県産学官連携センター	2016.4.16	高知県立大学永国寺キャンパス	地域の
「身近な食材で災害に備えよう！サバイバル飯」	島田郁子	大阪府八尾保健所管内特定給食研究会	2016.6.6	大阪府八尾保健所	栄養士・管理栄養士
ワンデーセミナー2016（出張講義）	竹井悠一郎	土佐塾高等学校校	2016.6.18	土佐塾高等学校校	
日本食育学術会議第13回大会 総括	稲井玲子		2016.6.18, 19		
土佐の特産品とその歴史	廣内智子, 沼田聡	土佐清水市立足摺岬小学校	2016.7.15	土佐清水市立足摺岬小学校	小学生
土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」	荒牧礼子	土佐清水市	2016.7.21	土佐清水市下浦青年会館	一般
よい食生活をすすめるネットワーク学習会「麴（こうじ）のはなし」	彼末富貴	よい食生活をすすめるネットワーク	2016.7.24	RKC調理製菓専門学校	よい食生活をすすめるネットワーク会員
土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」	荒牧礼子	土佐清水市	2016.7.28	土佐清水市下川口市民センター	一般
家庭的保育の研修講義	鈴木麻希子	高知県教育委員会	2016.8.20, 21	高知県立大学池キャンパス	家庭的保育者（認可外保育施設の他、保育所、幼稚園に勤務する者を含む）

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
第5回慢性腎疾患（CKD）料理教室	廣内智子, 竹井悠一郎, 隅田有公子	高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会	2019. 8.27	高知県立大学	
健康のつどい健康講話「血液さらさらで若さを保つ」	荒牧礼子	大阪ガス健康福祉財団	2016. 8.29	茨木市多世代交流センター	一般
栄養（食物）と医薬品の影響	田中守	高知県栄養士会	2016. 9.3.	高知県立大学池キャンパス	高知県栄養士会会員
高知県栄養士会生涯学習基本研修会	鈴木麻希子	高知県立大学	2016. 9.3	高知県立大学池キャンパス	栄養士会会員
食べ物と薬の組み合わせについて	田中守	本山町教育委員会	2016. 9.15.	本山町プラチナセンター	本山町民
土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業	西岡道子	土佐フードビジネスクリエーター人材創出（土佐 FBC II）	2016. 9.30	高知大学	一般
すり身を使った料理教室	彼末富貴	JA とさし女性部	2016. 10.24	JA 北原婦人部ふれあいの家	JA とさし女性部
高知県高等学校保健会高吾支部研修会	島田郁子	高知県高等学校保健会高吾支部	2016. 11.2	伊野商業高等学校	高校生・教員
子ども自然体験教室「ゆず酢をつくってみよう」	高知県立牧野植物園職員, 彼末富貴	高知県立牧野植物園	2016. 11.13	高知県立牧野植物園	小学生
健康長寿体験型セミナー「知るほど得する食のおはなし」	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2016. 11.26	香美市立中央公民館	一般
日本食育学術会議第4回・生活リズムと食育セミナー総括	稲井玲子		2016. 12.3	愛知みずほ短期大学	
ふるさとの台所料理教室「蒸し鯛、さばずし他」	篠原洋子, 彼末富貴	「ふるさとの台所」復刻を熱望する会	2016. 12.11	サニーマーケットキッチン+	一般
潮江東小学校5年「土佐の雑煮」の学習	松崎淳子, 彼末富貴	高知市立潮江東小学校	2016. 12.19	高知市立潮江東小学校	高知市立潮江東小学校5年生
ソーレまつり2016親子でご飯づくり「イカをさばいて炒め物をつくってみよう！」	彼末富貴	男女共同参画ポレール	2017. 1.28	こうち男女共同参画ソーレ	一般親子
平成28年度南海トラフ地震対策研修会	島田郁子	高知県教育委員会事務局 幼保支援課	2017. 2.6,20	高知県人権啓発センター, 安芸市防災センター	保育所職員
第28回シーズ・研究内容紹介「みんなで作って食べる食育へ」	沼田聡	高知県産学官連携センター	2017. 2.15	高知県立大学永国寺キャンパス	一般
「熊本県地震災害支援活動について」	島田郁子	高知県栄養士会 教育研究事業部	2017. 3.22	あんしんセンター	高知県栄養士会会員

(2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
南国市立十市小学校 校内研修会「食育スーパー学校研究の方向性について」	稲井玲子	南国市立十市小学校	2016. 5. 25	南国市立十市小学校
出前授業「鉄欠乏性貧血を予防・改善しよう」	鈴木麻希子	土佐女子高校	2016. 6. 14	土佐女子高校
食育スーパー学校・南国市立十市小学校食育委員会「食育スーパー学校研究の方向性について」	稲井玲子	食育スーパー学校・南国市立十市小学校食育委員会	2016. 6. 21	
校内研修会「食育スーパー学校研究における一部の調査結果」	稲井玲子	南国市立十市小学校	2016. 6. 29	南国市立十市小学校
南国市立十市小学校 高知県よさこい委員会「食育スーパー学校研究における一部の調査結果」	稲井玲子	高知県よさこい委員会	2016. 6. 30	
食事バランスの大切さについて	田中守	高知県立梶原高等学校	2016. 7. 5	高知県立梶原高等学校
出前講座「魚の料理教室」	彼末富貴	高知県立北高校	2016. 8. 2	高知県立北高校
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2016. 8. 21～22	土佐市保健センター
校内研修会「食育スーパー学校研究における調査結果」	稲井玲子	南国市立十市小学校	2016. 8. 25	南国市立十市小学校
南国市立十市小学校 食育スーパー学校研究発表会「食育スーパー学校研究における結果から」	稲井玲子		2016. 10. 19	
地域に根付いた食材・食文化～沢山ある高知の魅力～	田中守	愛媛県東松山高等学校	2016. 10. 20	愛媛県東松山高等学校
南国市立十市小学校 校内研修会「食育スーパー学校研究における結果報告」	稲井玲子	南国市立十市小学校	2016. 11. 29	南国市立十市小学校
南国市立十市小学校 校内研修会講師「食育スーパー学校」	稲井玲子	南国市立十市小学校	2016. 11. 30	南国市立十市小学校
高知の食材・食文化～高知県内を探索～	岡本威明, 田中守	愛媛県東松山高等学校	2016. 12. 10-11	高知県内
食事のバランスと体内時計	田中守	高知県立丸の内高等学校	2016. 12. 12	高知県立追手前高等学校
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2015. 12. 17～18	土佐市保健センター
香南市食育事業(継続中) 香南地元学講座	島田郁子 沼田聡	香南市地産地消協議会	2017. 2. 19 (2016. 6. 1～継続中)	香南市のいちふれあいセンター

10. 国際交流活動

渡邊浩幸

今年度から、国際交流委員会が国際交流センターとして組織化され、国際交流活動を運営することになった。健康栄養学部からは、渡邊浩幸がセンター員として学部代表となり、活動を指揮した。なお、学部内には、国際交流ワーキンググループを置き（渡邊，村上，稲井，和田，荒牧，島田，竹井）、さらに活動の具体化を企画し、学部全教員で対応した。

1. 活動報告

1) 池ディ

毎年、海外からの留学生の受け入れ期間中には、池キャンパスでの交流活動として池ディを設定して、池キャンパスの各学部での学生や教員との交流を深める機会としている。今年度は、イタリアからの留学生9名と台湾からの長期交換留学生2名が参加して開催された。



テーマ：①無形文化遺産和食について、②あなたの食事の内容を知ろう

開催日時：平成28年6月2日（木）16：00～17：00

開催場所：高知県立大学池キャンパス健康栄養学部棟1階試食室

食育SATシステムの食品サンプルを自由に取ってもらい、全体でバランスのいい食事になるかどうかの判定を受けた。食品サンプルの出来栄に、留学生たちは驚きを示していた。また、留学生らは、健康栄養学部4年生らから選択した食事の内容について説明を受け、好きなメニューと適切な栄養摂取量の違いに驚いた。

その後、和食について、パワーポイントを使用して説明し、和食について話し合った。また、日本茶やおカラと米粉で作ったお菓子（オカラッティ）を楽しんだ。

2) サバ大学学生受け入れ

毎年、マレーシア国立サバ大学からの短期留学生を受け入れているが、今年度は、男女合わせて5名の留学生の受け入れを行った。宿泊所には、教員からカーテンを借りて設置し、また、宿泊所の掃除や必要な日用品リストを作成して、各研究室からの持ち出し品を管理しながら対応の準備を行った。

受入期間：7月4日～7月29日

宿泊施設：池教員宿舎1階（男性1名）、学生会館1階（女性4名）

受け入れプログラムは、高知医療センターに実習を依頼して先に予定を決め、その後、健康栄養学部関連の授業や実習を組み込んで作成した。

なお、7月25日から28日には、同大学のHo Ai Ling先生も来校された。



サバ大学受け入れスケジュール						備考
	午前		午後			
	1限目(8:50~10:20)	2限目(10:50~12:00)	3限目(13:00~14:30)	4限目(14:40~16:10)	5限目(16:20~17:50)	
7月3日	日					
7月4日	月	5時頃高知駅	検便 休み	休み	生活面オリエンテーション	生活面オリエンテーション 検便
7月5日	火	健康栄養基礎	疾病論 I	休み	調理科学実験	かるた部 17:30~
7月6日	水	永国寺見学	英語コミュニケーション 永国寺キャンパス 岩郷先生(10時~45分)	廣内先生打ちあわせ (13:40~臨床栄養実習室)	臨床栄養学実習 I (14:40~16:55)	留学生自己紹介 (昼休み)
7月7日	木	給食経営管理実習(14:00~15:30 休み、15:30からミーティング)				
7月8日	金	病院長、局長挨拶 オリエンテーション9:00~11:00 院内見学11:10~12:00	ミーティング後2階で職員紹介13:25~ フロア業務紹介13:40~ 栄養業務・給食業務(日清)14:30~ ※厨房見学15:30		学習ミーティング	
7月9日	土	自由行動				渡邊不在
7月10日	日	自由行動				
7月11日	月	9:30~11:30栄養指導について(媒体・指導室) (3名)	休み	交通安全講習会 (15:00~16:00)	浴衣着付け16:00~ 茶道17:00~	
7月12日	火	主厨房業務(3名)9:00~11:30 3階5階フロア業務(各1名) 検食(2名)				
7月13日	水	NSTについて9:00~10:00 NST Conference(見学)10:00~12:00	4・9・10階業務(各階1-2名) ※4階はカンファレンスマタニティークラス(見学)を含む13:30~			
7月14日	木	主厨房業務(2名)9:00~11:30 6・7・9階フロア業務(各1名)	DM集団栄養指導(見学)予定 (3名まで)14:00~15:00	医療センター実習報告会準備		実習まとめ
7月15日	金	実習報告会(10分/1人)9:30~10:30 総括・終了11:00~12:00		医療センター実習報告会振り返り		
7月16日	土	COME☆RISHの活動(大野見村)				
7月17日	日	配食サービスの見学と試食(佐川町小川地区)				
7月18日	月					
7月19日	火		とさの里(5名)		研究室ゼミ	
7月20日	水		とさの里(5名)		荒牧研究室ゼミ	
7月21日	木	災害時調理実習(サバイバルメシコンテスト)			基礎栄養学実験	
7月22日	金		とさの里(5名)		研究室ゼミ	
7月23日	土	自由行動				
7月24日	日	自由行動				
7月25日	月(木)	英語コミュニケーション 池キャンパス 岩郷先生(10時~45分)	給食経営管理発表会		研究室ゼミ	
7月26日	火	調理学実習 I	聖園(みその)ベビーホーム(5名14時~16時)		研究室ゼミ	
7月27日	水	地域公衆栄養学実習(9:45~12:00)	研究室ゼミ	研究室ゼミ	研究室ゼミ	さよなら交流会
7月28日	木	研究室ゼミ	研究室ゼミ	研究室ゼミ	自由行動	
7月29日	金	帰国				

3) サバ大学学生短期派遣

毎年、マレーシア国立サバ大学からの短期留学生を受け入れているが、今年度は、男女合わせて9名の派遣を行った。派遣人数を増やした理由として、マレーシアまでの交通費やサバ大学の必要経費が少ないことから、1回生からの派遣を勧め、2回生までに2回の派遣を経験させることで、英語力の必要性や海外での学習の意義を理解してもらえるように考えた。

面接による派遣の適正審査を行い、事前指導と派遣後の報告を義務として派遣を許可した。なお、今年度は、学生の宿泊をサバ大学の寮から大学外のホテル（1泊朝食付 1,400円程度）に変更して行った。

日付	活動	担当者	備考
3/6 (月)	【学生】 ホステル到着 【島田】 高知→羽田→成田→クアラルン プール	Dr.Joko	
3/7 (火)	✓ 13:00 サバ大学内カフェで、島田と学 生が落ち合う ✓ Food Technology and Bioprocessing の実験見学 ✓ マフィン作り ✓ 夕食 1-Borneo の Upperstar	Food Tech の学生 Dr.Joko Food Tech の学生	予定だった 12:30 の学部 長との面会は翌日へ 14:30 の学長との面会は キャンセル
3/8 (水)	8:15 シャリフディン学部長と面会 8:40 Food Service 実習（ホテルレスト ランでの Serving）見学と体験 10:45 Eco Campus 見学 11:00 図書館見学 12:30 水族館見学 13:00 医学部 Anatomy Gallery 見学 13:30 昼食 Alamesra マレー料理 1-Borneo や Imago で買い物	Prof. Sharifudin Assoc.Prof.Hasmadi Assoc. Prof. Lee Lecturer BK Food Tech と Food Service の学生 Dr.Joko Food Tech 学生	Eco Campus 外来者の ための大学案内所
3/9 (木)	✓ 8:00-10:00 Food Processing and Presevation's lecture ✓ 10:30-12:30 プレゼンテーション見 学（ピトー管の原理について） ✓ 昼食 1-Borneo の中華 ✓ 14:00 Food Processing and Preservation's lab パイナップルジャム作成 ✓ Lintas で夕食（麺料理）	Prof. Sharifudin Food Technology and Bio Processing 学生 Food Service 学生 Food Tech 学生	
3/10 (金)	✓ チョコレート作り ✓ 昼食 マレースタイル（Alamesra） ✓ 14:00-16:00 島田による講義 （日本や高知のトピック、研究等） ✓ 学生自由時間（食事・買い物等）	Food Tech 学生 Food Service 学生 Dr.Yasmin FSMP 教員・学生 Food Tech 学生	竹井先生の研究紹介
3/11 (土)	✓ クンダサン観光	Food Tech 学生 Computer Science 学生	
3/12 (日)	✓ Sunday market ✓ Manukan 島	Food Tech 学生 Computer Science 学生	
3/13 (月)	✓ 9:00-11:00 Food Sensory Evaluation's lecture 官能検査についての講義 昼まで自由行動 ✓ 14:00 サバ州立博物館見学	Pn Salwa Food Science 学生 Food Service 学生	
3/14 (火)	✓ 9:00-10:15 Eastern and Western Cookery's Lecture ✓ プレゼン練習 ✓ 昼食 Sushiking ✓ 県立大学生によるプレゼン 高知県・高知県立大学紹介 学んだこと 文化や言語	Mr Aizul Azri Azizan Food service 学生 FSMP 教員 FSMP 学生	

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ よさこい紹介 19:30-21:40 Informal Dinner 	Prof.Sharifudin Assoc.Prof. Hasmadi, Assoc. Prof. Lee Dr. Ho Dr.Noorakmar Dr.Joko Dr.Ramlah 学部生 1, 2 回生	
3/15 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 8:00-10:00 Post Harvest Handling Technology's Lecture ✓ 10:30-11:45 ボルネオ海洋研究所 (養殖場) 見学 ✓ 12:30 Informal Lunch (Alamesra) Fish Head curry ✓ Filipino Market (コタキナバル) ✓ Lintas 学生と交流 ✓ Sutra Harbour ✓ 夕食 (空港近くの中華) ✓ 21:30 空港着 	Dr. Mohd Ismail Prof.Shigeharu Senoo Food Science 学生 Prof.Sharifudin Hasmadi, Assoc. Prof. Lee Dr.Joko Food Tech 学生 Food Science 学生 Dr.Yasmin	学部共通授業(大講義室) 2016年2月に近畿大学と サバ大学が提携、近畿大 学・マレーシアサバ大学 養殖開発センターとなっ た
3/16 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 00:50 コタキナバル発成田行き MH080 ✓ バスにて羽田空港第2ターミナルへ ✓ 13:55 JL495 高知空港へ ✓ 15:40 到着&解散 	渡邊、竹井	

4) ヴェネチアカ・フォスカリ大学学生短期派遣

全学的な派遣プログラムとして、イタリア ヴェネチアカ・フォスカリ大学への学生の短期派遣を実施している。健康栄養学部からは、2回生の女子学生1名が参加した。

派遣期間：2016年9月12日～23日

5) エルムズ大学学生短期派遣

全学的な派遣プログラムとして、アメリカエルムズ大学への学生の短期派遣を実施している。健康栄養学部からは、1回生の女子学生2名が参加した。

派遣期間：2017年2月21日～3月4日

2. 来年度に向けて

2017年度からは、さくら寮の運営が始まり、海外からの学生や教員との積極的な交流が可能となる。学部の第一の目標は、管理栄養士を養成することであり、教員による学部の運営能力と学生の授業以外の時間的ゆとりのバランスを見ながら、適切な国際交流を展開できるようにしたい。

11. 国家試験対策委員会

廣内智子，隅田有公子

I. 主な活動内容

管理栄養士の資格取得のためのサポートとして、3回生及び4回生を対象に全国統一模擬試験を全7回実施した。3回生では苦手分野の把握を目的に、4回生では合格点120点以上を目標に実施した。また、模擬試験終了後には、成績が伸び悩む学生を対象に個別面談を行い、今後の勉強方法についてアドバイスをを行った。その他、外部講師による国家試験対策講座を年3回開催した。学生は積極的に講座に参加し、苦手分野の解き方や勉強方法を身に付け、苦手科目・不得意科目の克服を目指した。1月に実施した学部教員による国家試験対策講座では、各科目担当教員が基礎的内容から国家試験問題の解説まで徹底指導に取り組んだ。その他、国家試験受験願書説明会等を開催し、合格までのサポートを行った。

II. 国家試験対策（平成28年度年間活動内容一覧）

実施日	内容	受講及び受験者数（名）				
		2回生	3回生	4回生	外部	合計
6月4日（土）	RDC 特別講演会 講師：細川雅和先生（RDC センター）		37	29	12	78
6月19日（日）	特別講演会 講師：小野章史先生（川崎医療福祉大学）	30	38	20	6	94
6月25日（土）	全国統一模擬試験 （第1回 RDC 管理栄養士センター）		13	40	0	53
7月23日（土）	全国統一模擬試験 （第1回日本医歯薬研修協会）		1	38	1	40
9月24日（土）	全国統一模擬試験 （第2回日本医歯薬研修協会）		1	39	1	41
10月1日（土）	RDC 秋期基礎対策講座 講師：細川雅和先生（RDC センター）		0	7	3	10
11月5日（土）	全国統一模擬試験 （第2回 RDC 管理栄養士センター）		40	41	3	84
11月26日（土）	全国統一模擬試験 （第3回日本医歯薬研修協会）		0	39	1	40
1月7日（土）	全国統一模擬試験 （第3回 RDC 管理栄養士センター）		40	41	2	83
1月28日（土）	全国統一模擬試験 （第4回日本医歯薬研修協会）		0	41	0	41

III. 第31回管理栄養士国家試験

実施日：平成29年3月22日（日） 合格発表：平成29年5月9日（火）

受験者数：41名 合格者数：38名 合格率：92.68%

12. 学部就職支援

川村真美, 渡邊浩幸

1. 活動内容

1) 全学的取り組み

本学では、池・永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導と支援をしている。キャリアセンター(愛称:ワクワク Work!!)の相談員は、学年を問わず、就職に関する様々な質問や相談に応じている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心してより効果的に就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生への徹底した指導・サポートを行っている。また、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるよう、病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。ほぼ全員の卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動体験報告書があり、採用試験の内容や、勉強方法などのアドバイスが記載されており、後輩学生の参考になっている。またワクワク Work!!主催の就職必勝・実践 WIN 講座や SPI 模擬試験など就職活動活性化のためのガイダンスやセミナーなどが H28 年度は 90 回実施された。管理栄養士などの専門職種も一般企業での活躍の場が増えており、平成 28 年度は新たに企業説明会から最終選考までの選考過程を実践的に体験できる就職ガイダンス「ザ・プレ就活」を新たに実施した。本学学生の採用を希望する企業からの大学への訪問希望の対応などをし、学生からのニーズが多い場合には学内説明会を実施した。また、ワクワク Work!!職員を対象とした研修が平成 28 年度も引き続き実施された。

平成 27 年度に引き続き、ハローワーク高知の“大卒就職ジョブサポーター”1 名が週 1 回水曜日に、池キャンパスのキャリアセンターに来て、学生の個別相談を受ける体制であり、就職活動の支援が強化された。また、大卒ジョブサポーターによって高知県のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化に繋がっている。平成 27 年度より、インターネットによる求人閲覧システムを導入しており、ワクワク Work!!に足を運ばないときでも大学に届いた求人情報をチェックできるようになっている。

ワクワク Work!!職員と 3・4 回生学年担当教員は、年度初めに担当学年学生の就活についての情報や学生の希望や適性・近況などについて情報交換の話しを持ち、情報の共有に努めた。

2) 学部の取り組み

平成 20 (2008) 年度より学部独自に 2 名の就職担当教員を配置し、就職支援に取り組んでいる。就職担当教員は学部主催の就職セミナーを企画・立案・実施した。また、学年担当教員・卒業研究指導教員と連携して、教員間で密に連絡を取り、学生の就職活動の活性化を促し、個別に提出書類の添削・指導を行ったり、求人情報の提供などの支援を行った。また、ワクワク Work!!主催の就職ガイダンスやセミナーへの積極的な参加を促した。学生から要望があった時には希望する職種に就職した卒業生を紹介し、就職先や受験勉強対策について直接相談する橋渡しの役目も行った。

本学部学生は、ワクワク Work!!主催の就職ガイダンスのうち 31 講座に延べ 400 名が参加した。表 1 にワクワク Work!!が主催した就職支援企画への本学部学生の参加実績を示す。

表1 平成28年度 就職ガイダンス 健康栄養学部参加状況 (2017年5月)								
No.	月日	キャンパス	タイトル	対象	場所	時間	全学合計	健康栄養
							H28年度	
1	16/4/5	池	オリエンテーション	3回生	大講義室	10:30~11:30	187	40
2	16/4/6			4回生		13:00~14:00		
3	16/4/13	永国寺	公務員試験対策講座	1~4回生	A108教室	18:10~19:40	75	6
4	16/4/18	永国寺	(株)大屋 ドラックストアマック 個別説明会	4回生	A327会議室	14:40~16:10	2	1
5	16/5/31	池	社会福祉学部・健康栄養学部 面接・小論文対策ガイダンス	4回生	大講義室	14:40~16:10	45	12
6	16/6/20	永国寺	(株)ツルハ 個別説明会	4回生	A406教室	14:40~16:10	1	1
7	16/6/20	池	リクルートファッション&メイク講習会	2・3・4回生	A306教室	14:40~16:10	15	2
8	16/6/27	池	就職活動スタートアップ講座(健栄・社福)	3回生	大講義室	14:40~16:10	55	40
9	16/6/28	池	エゴグラムを活用した長所・短所の整理	2・3・4回生	A320教室	8:50~10:20	22	18
10	16/7/11	永国寺	筆記試験ガイダンス	3回生	A214教室	16:20~17:50	25	2
11	16/10/31	池	労働法ワンポイント講座(社福③④健栄③)	3・4回生	大講義室	14:40~16:10	11	11
12	16/11/7	永国寺	魅せる就活マナー講座	1~3回生	A202・203教室	13:00~14:00	27	13
						14:40~15:40	13	6
13	16/11/19	永国寺	インターンシップ★LIVE 大阪バスツアー	3回生	インテックス大阪	5:30~22:00	24	18
14	16/11/26	永国寺	ザ・ブレ就活	3回生	会議室	9:00~17:00	29	14
15	16/12/3					9:00~17:00	27	14
16	16/12/12	池	エントリーシート(履歴書)の書き方講座	3回生	大講義室	14:40~17:50	53	32
17	16/12/10	池	就職必勝・実践WIN講座	3回生	本部棟A318	9:00~17:00	26	21
18	16/12/11				本部棟A318	9:00~17:00	23	20
19	17/1/23	永国寺	香川教員採用説明会	3回生	A107教室	14:40~16:00	6	2
20	17/1/24	池	SPI模擬試験(マークシート版)	1~4回生	本部棟A320	14:40~16:10	29	25
21	17/1/28	永国寺	業界研究セミナー-県内企業	3回生		13:30~16:00	8	2
22	17/1/29	永国寺	3大学合同就職セミナー-2018	3回生	A110教室	10:00~17:00	18	8
23	17/2/4	永国寺	業界研究セミナー-県外企業	3回生		10:00~12:30	10	5
24	17/2/8	永国寺	「自己紹介書」作成セミナー	3回生	A203教室	13:00~14:30	3	1
25	17/2/19	高知市内	公務員試験模擬試験	全学年	資格スクール大栄	9:30~15:00	19	3
26	17/2/20	池	教員採用試験公開模試	1~3回生	A318教室	14:40~18:00	20	4
27	17/2/27	池	実践☆履歴書ガイダンス(看護・社福・健栄)	3回生	大講義室	14:40~16:10	72	8
28	17/3/1	池	エームサービス説明会(健栄)	3回生	A321教室	14:40~16:10	20	20
29	17/3/6		マイナビバスツアー	3回生			22	4
30	17/3/8	池	シダックス株式会社 説明会(健栄)	1~3回生	A319教室	14:40~16:10	3	3
31	17/3/18	池	就職必勝・実践WIN講座 (医療関係)	3回生	A318教室等	9:00~17:00	10	3
	17/3/19				A318教室等	9:00~17:00	3	3

【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、学部主催の就職セミナーを平成20年度より開催しており、平成28年度は2回開催した。学部学生を対象として、社会で活躍中の卒業生5名を講師に招いて10月に、就職が内定した4回生6名を講師に1月に実施した。毎回各講師から全体に体験談を話してもらったのち、職種ごとに教室に分かれ、在学生からの質問に答えてもらう小グループでの個別質問タイムを設けて、学生が聞きたいことを質問しやすいように企画し開催した。2回とも学部2・3回生90%以上が参加し、参加率は非常に高かった。参加感想アンケート結果をみると、就職活動の活性化になり就活への不安を軽減するだけでなく、講師の話から自分のやりたい職種がしぼれたり、日々の授業の重要性の認識や国家試験勉強を始める動機付けになり、よい効果を得ていることが窺えた。下記にその詳細を示す。

●平成 28 年度第 1 回健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2016 年 10 月 10 日(祝)9:00～12:30

講師：本学部卒業生 5 名

石原舞さん（平成 27 年度卒 エームサービスジャパン株式会社刈谷豊田総合病院事業所 管理栄養士）

須藤ひかりさん（平成 27 年度卒 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 管理栄養士）

川越朱さん（平成 23 年度卒 宮崎県 久留米大学病院 管理栄養士）

田中文美さん（平成 23 年度卒 四国中央市立金生第一小学校 栄養教諭）

中島伊織さん（平成 23 年度卒 (株)サニーマート商品部惣菜品質管理）

講師の卒業生が、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表し、それぞれの職種について学生の理解が深められるように企画した。

参加数：1 回生 28 名(68%)、2 回生 41 名(98%)、3 回生 37 名(90%)、4 回生 6 名、教職員 8 名、参加総数 120 名。

2・3 回生の参加率は非常に高く、質問も活発にあった。参加の感想として、1 回生(非常に良かった 75%、良かった 18%)、2 回生(非常に良かった 45%、良かった 45%)、3 回生(非常に良かった 51%、良かった 49%) であり、「非常に良かった」と「良かった」の割合が非常に高いと言えた。

参加した学生は、「講師の卒業生の話から刺激を受け、将来について真剣に考える機会となった」、「様々な職種の実際の現場の話が聞けてとてもよかった」、「就職の選択の幅が広がった」、「希望している職種の管理栄養士として働きたいという想いが強くなった」などと多くの刺激を受けたようであった。

また、講師を務めた卒業生から、「就職セミナーでお話しさせていただき、また友人や後輩の仕事の話を聴くことができ、大変勉強になりました。質問タイムでは、学生のみなさんの熱意に、私も刺激を受けました。もっと頑張らなくては、と気合が入りました」との感想が寄せられた。学生にとっても、卒業生にとっても就職・仕事について真剣に考える機会になっていた。



全体質問タイム



職種毎質問タイム

●平成 28 年度第 2 回健康栄養学部就職セミナー ～健栄 教えて！先輩～

2017 年 1 月 18 日(月)16:30～19:00

講師：4 回生就職内定者 6 名

上岡茉由さん（老人保健施設 管理栄養士）

杉沢江里子さん（給食委託会社 管理栄養士）

谷本佳史さん（病院 管理栄養士）

堀真楠実さん（大分県 学校栄養職員）

町田歩乃香さん（東京都 栄養士）

松本玲奈さん（渋谷食品株式会社 総合職）



内定者の個人発表

内定を勝ち取った 4 回生 6 人が発表した。

参加数：1 回生 35 名(90%)、2 回生 42 名(100%)、3 回生 40 名(98%)、4 回生 5 名、教員 5 名、ワクワク work!!職員 2 名、参加総数 129 名。毎年高い出席率であるが、今年は各回生ともにより高かった。

参加の感想として、1 回生(非常に良かった 71%、良かった 25%)、2 回生(非常に良かった 58%、良かった 39%)、3 回生(非常に良かった 74%、良かった 21%)で、「非常に良かった」および「良かった」の割合が極めて高かった。



熱心にメモをとる学生

講師の 4 回生からは、「就活スケジュールの流れや希望職種を決めた理由、国家試験の勉強方法、ワクワク Work!!の講座などに積極的に参加してよかったこと、ワクワク Work!!へ早いうちから相談や話に行ったほうがいい」などの話があり、下級生はメモを取りながら熱心に聞き、活発に質問をしていた。

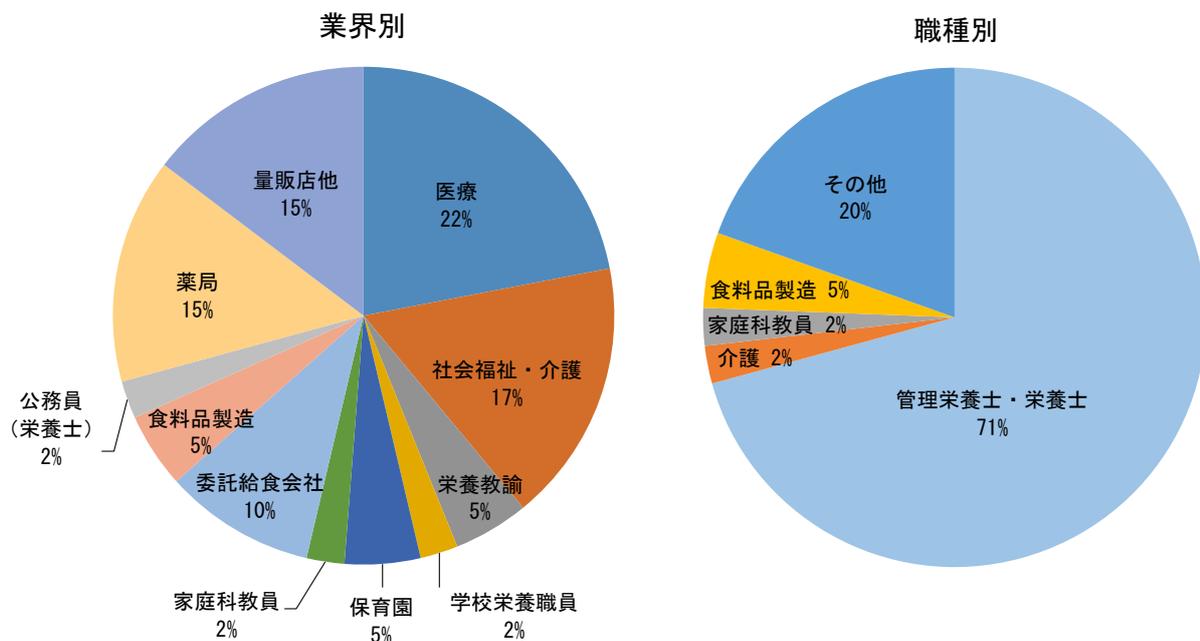
学生からの感想は、「毎回とてもためになっている」、「とても参考になり、モチベーションも上がった」、「早めに国試対策に取り組もうと思った」、「様々な職種の先輩の話が聞けてすごくてためになった。国試の対策方法なども聞くことができ、今の時期からやっておこうと思った。とてもやる気が出た。」などが寄せられた。

2. 成果

平成 28 年度の卒業生は 41 名で、全員が就職希望で就職内定率は 100%であった。学部就職担当教員・ワクワク Work!!職員・ジョブサポーター・卒業研究担当教員・学年担当教員・学部キャリア支援部会員の連携した支援・個別指導が、内定を取ることに繋がった。管理栄養士の資格を活かさない就職先を希望する学生もおり、そのような学生には資格を活かした職業に就くことの良さを伝えるようにした。また、卒業生は一般企業から管理栄養士職に転職する場合がかなりある実情から、将来意識が変わる可能性も大いにあることを話し、管理栄養士職への就職を考えるように勧めることを心掛けた。学部独自の就職セミナーを開催し 9 年目を迎え、参加率が毎年非常に高く、参加学生の感想を見ると、就職活動の活性化、内定の獲得に効果を上げていると感じる。就職セミナーでの講演の中で、講師の卒業生がよく話すワクワク Work!!の就職ガイダンスに積極的に参加したほうがよいということが浸透してきたのか、平成 28 年度も 3 回生は積極

的に就職ガイダンスやセミナーに参加し、参加率が高く、4回生での就活本番に向けての準備がより早くできていると思われた。また、4回生はワクワク Work!!に相談に行く回数も多く、自分で調べた上で相談をし、真面目に積極的に就活に取り組んでいた。

下記に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。



3. 平成 29 年度の課題

卒業後の就職は、学部の大きな役割の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員はキャリアセンター(ワクワク Work!!)と密に連絡を取り協力して、男女共学化して三年目の平成 28 年度卒業生も就職内定率 100%を達成した。ワクワク Work!!職員は、学生一人ひとりの性格に合ったきめ細かい就職支援をし、手厚くサポートしており、就職内定率 100%になったのもワクワク Work!!職員のサポートによるところが大きい。キャリアセンターのもつ役割は大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

今後も就職希望者全員内定を維持するために、キャリアセンターの充実が望まれる。健康栄養学部としてキャリアセンターと連携を図り、学部就職担当教員・学年担当教員・卒業研究指導教員およびキャリア支援部会員の協力体制を充実させ、学生一人ひとりの個性に合った個別指導をしていくことが重要と考える。また、学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えている学部主催の就職セミナーを、学生の要望を反映させて充実した形で実施する。

13. ファカルティ・デベロップメント (FD) 活動

廣内智子

1. 平成 28 年度の教育改革に関わる動向

平成 28 年度は、全学 FD 研修会を各部局との共催を含めて 4 回実施した。各学部の FD 研修会は文化学部 4 回、看護学部 5 回、社会福祉学部 4 回、健康栄養学部 1 回、人間生活研究科 2 回、それぞれ実施した。学内で実施した FD 研修会の合計は 19 回、参加延べ人数は 255 名であった。

2. FD 活動のハイライト

平成 28 年度の FD 活動は、各学部の FD 研修会を中心に活発に実施した。また、FD 委員会では、次年度以降に向けて授業公開方法と授業評価アンケート活用方法について検討した。

昨年度に実施した授業公開について、参加者の意見を踏まえ、授業担当教員が実施しやすいシステムづくりに焦点を当てて検討した。授業公開を活性化させるため、授業公開の準備と実施後の意見交換や文書作成等の手続きを簡易化するとともに、目的に応じたタイプ別の授業公開マニュアルを作成した。本学では、学生による授業評価アンケート結果を教員自身が自己評価し報告することになっている。この活動を FD の有用な手段へつなぐことを目的に、教員の報告記載内容を踏まえ、教員自身ならびに FD 委員会が授業評価アンケート結果を FD に活かす方策について検討した。

3. 成果及び波及効果

FD の波及効果は、学内で実施した研修会のプログラム名、参加人数・率により客観的に評価している。これら実施した FD の記録を学内ホームページで公開するとともに、年度初めに委員会報告を行っている。

4. 次年度の課題

次年度の FD 課題として、学生による授業評価アンケート結果を FD に活かせるよう、FD 委員会が課題を明確にした上で、教務委員会・教務課と連携し、各部署が主に関与するアンケート調査方法・データ分析方法・教員報告方法について協議する予定である。

5. 教員の授業向上・教育力向上等のための学内・学外 FD 活動

1) SPOD 主催 FD

テーマ：平成 28 年度 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

日時：平成 28 年 8 月 30 日～31 日

場所：高知大学朝倉キャンパス共通教育 3 号館 1 階 310 番教室

講師：塩崎俊彦（高知大学 大学教育創造センター 副センター長 教授）他

受講者：隅田有公子

テーマ①：講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～

テーマ②：はじめてみよう！アクティブ・ラーニング

日時：平成 28 年 9 月 6 日（火） ①10：00～12：00 ②13：30～15：30

場所：高知大学（朝倉キャンパス）共通教育棟 3 号館 1 階 310 教室

講師：①俣野秀典（大学教育創造センター）②立川明（大学教育創造センター）

受講者：竹井悠一郎

テーマ：シラバスブラッシュアップワークショップ

日時：1月25日（水）13：30～15：00

場所：高知大学（朝倉キャンパス）共通教育棟3号館1階310教室

講師：立川明（大学教育創造センター）

受講者：島田郁子

2) 高知県立大学FD研修会（高知県立大学FD委員会共催）

テーマ：模擬患者（SP）参加型コミュニケーション研修「患者と医療者のズレってなに？」

日時：平成28年7月2日（土）13：00～17：00

場所：高知県立大学池キャンパス A216・A217

講師：NPO法人 響き合いネットワーク・岡山SP研究会

参加人数：24名（内、健康栄養学部教員2名、健康栄養学部学生3回生4名）

健康栄養学部受講者：竹井悠一郎、廣内智子

テーマ：再課程認定申請に向けての勉強会

日時：平成28年8月1日（土）13：30～15：30

場所：高知県立大学永国寺キャンパス

講師：龍谷大学 世界仏教文化研究センター 小野勝士氏

参加人数：34名（内、健康栄養学部教員3名）

健康栄養学部受講者：村上尚、鈴木麻希子、西岡道子

テーマ：教職員のワークライフバランス

日時：平成28年12月22日（木）13：30～16：30

場所：高知県立大学池キャンパス A306

講師：こうち男女共同参画ポレール副代表 松田高政氏

参加人数：21名（内、健康栄養学部教員3名）

健康栄養学部受講者：廣内智子、隅田有公子、彼末富貴

6. 教員の授業向上・教育力向上等のための健康栄養学部FD活動

日時：平成29年1月23日（月）17：30～18：00

場所：高知県立大学池キャンパス A321

参加人数：23名（教員15名、医療センター栄養局スタッフ8名）

・テーマ：熊本地震における災害支援活動報告

講師：島田郁子

・テーマ：日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）リーダー育成研修報告

講師：隅田有公子

14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

廣内智子，竹井悠一郎，隅田有公子

慢性腎臓病（CKD）料理教室

開催日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）10：00～13：00

開催場所：高知県立大学 本部・健康栄養学部棟 1 階 調理学実習室

対 象：慢性腎臓病（CKD）治療中の患者および家族など

参加者数：22 名（男性 7 名，女性 15 名）

スタッフ：14 名

高知医療センター 小谷小枝，坂本一美，吉松香絵

高知県立大学 竹井悠一郎，廣内智子，隅田有公子

学生（3 回生） 清水（幹），成瀬，中曾，大原，田中，岩本，田井，田坂

1. 事業概要

慢性腎臓病(CKD)の患者さんの食事療法におけるセルフケア支援につなげることを目的に，毎年，高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会が，平成 25 年度に作成した「慢性腎臓病（CKD）患者さんのための食事療法手引き」をもとに，CKD 料理教室を開催しています。平成 28 年度は，8 月 27 日（土）に高知県立大学池キャンパス，本部・健康栄養学部棟 1 階の調理学実習室にて，第 5 回 CKD 料理教室（夏の献立）を開催しました。定員 30 名で募集し，27 名の申し込みを頂きました。当日の参加者は慢性腎臓病の患者さんとそのご家族で，合計 22 名（男性 7 名，女性 15 名）でした。スタッフとして，高知医療センター栄養局職員 3 名，健康栄養学部教員 3 名，健康栄養学部 3 回生 8 名が参加しました。

2. 活動成果

医療センターの管理栄養士が手引きをもとに，慢性腎臓病の食事療法と減塩のポイントについて講義を行い，食事療法の重要性について理解を深めて頂きました。次に，実際に調理する低たんぱく食の「夏の献立」を具体的に紹介しました。

昼食メニュー：ペペロンうどん，コンソメスープ，かぼちゃのサラダ

夕食メニュー：しいらのムニエル，野菜の揚げびたし，オクラのゴマ和え

ご参加頂いた 22 名の方々に，班ごとに分かれて頂き，参加者 3 名～4 名に対してスタッフ 2 名がサポートとして入りました。調理実習中も参加者が疑問に感じる事があればスタッフの管理栄養士や学生に調理しながら質問・相談できる体制を取り，調理しながら学ぶことができる料理教室を実施しました。

参加者の中には，ご夫婦や親子で協力しあい調理を行う姿も見られました。各班で昼食，または夕食を調理し，朝食はスタッフで作成し見本として展示しました。試食会では各グループに分かれ参加者の方と試食しながら，ご家庭の味と比較して頂き，質問やご相談を受けました。

3. 活動評価

参加者からは、「とても美味しく、作ってみようと思う料理でした」「次回も料理教室に参加したい」「毎年、CKD 料理教室を開催して頂きたい」「出来れば季節ごとに年 4 回の開催をお願いしたい」などのご感想を頂きました。アンケートでは、95%の方から慢性腎臓病料理教室が「参考になった」とご解答頂きました。



15. 災害プロジェクト委員会

廣内智子, 隅田有公子

I. 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練

1. 事業概要

高知医療センターが基幹災害拠点病院としての機能を果たせるように、医療センターに来院した軽症者と避難者を高知県立大学が避難所となり受け入れる。また、災害発生時に医療センター内にいる帰宅困難者(外来患者、面会者、業者等)のうち、医療センターから受け入れ要請のあった者を避難所で収容する。昨年に引き続き、以上を通して災害時の課題を抽出・分析し、今後作成する災害対応マニュアル等の基礎データとする。健康栄養学部は食料等対応の訓練を行った。

日 時：平成 28 年 11 月 12 日 (土) 8:00~12:15

場 所：高知県立大学池キャンパス 体育館 1F 入口付近

役 割：避難所(体育館)での食事提供

対象者：教職員・学生・地域住民などのエキストラ 350 名程度

参加者：健康栄養学部教員 8 名(内訳：本部 1 名、医療班 1 名、食料対応チーム 6 名)

健康栄養学部学生 47 名(内訳：傷病者役 34 名、いけあい 3 名、食支援 10 名)

内 容 8:45~災害訓練及び避難訓練開始

一次避難場所への避難と点呼

11:00~食料等対応訓練開始

① 飲料水の提供

② マジックライス(白米)をおにぎりにして 1 人 2 個を提供(445 個 225 人分)

③ 卵スープの提供

④ コインティッシュを提供し、各自ウエットティッシュにして手を拭いてもらう

12:15 終了

高知医療センターとの連携

大学から栄養局への提供

安心米 200 食(ドライカレー, 五目ご飯, 海鮮おこわ, 鶏そぼろ 各 50 食)

栄養局から大学への提供

卵スープ 300 個

乳幼児用粉ミルク 1 缶(レンタル) ※哺乳瓶等は大学で準備

2. 活動成果

平成 28 年度の新しい取り組みとして、マジックライスによるおにぎりの提供、災害時用スープの提供、及び災害時など手洗い環境が得られない状況を想定したコインティッシュの配布であった。訓練終了後に参加者に食料対応チームについてのアンケートを実施した。アンケート結果では、おにぎりの味が丁度良いと回答した人が 74%、卵スープの味が丁度良いと回答した人が 80%、コインティッシュが使いやすかったと回答した人は 83%であった。その他、配食がスムーズだった等の意見も頂いた。今後も、実際の緊急時に備え、高知医療センター栄養局と合同でスムーズに食事が提供できるよう情報交換をすすめていく。

～訓練の様子～



おにぎりの作成



ふりかけをまぶす



おにぎり等の配布



コンロカートでお湯を沸かす



卵スープの配布



コインティッシュの活用

II. 高知県立大学池キャンパスの災害時用飲料水及び食料の備蓄状況

備蓄場所	購入年度		賞味期限	購入数	在庫数	使用年度
学内分置	2012年	飲料水	2017年12月20日	100箱	57箱	2017年
学内分置		食料	2017年8月	36箱	28箱	
倉庫②	2013年	飲料水	2019年8月6日	100箱	100箱	2018年
倉庫⑥		食料	2019年2月	36箱	36箱	
倉庫③	2014年	飲料水	2020年6月1日	100箱	100箱	2019年
倉庫⑦		食料	2019年12月	36箱	36箱	
倉庫④	2015年	飲料水	2021年7月29日	100箱	100箱	2020年
倉庫⑧		食料	2021年1月	36箱	36箱	
倉庫①	2016年	飲料水	2022年7月25日	100箱	100箱	2021年
倉庫⑤		食料	2022年3月	36箱	36箱	

16. 高知県立大学創基 70 周年記念事業 特別講座（健康栄養学部リカレント講座）

渡邊浩幸

高知県立大学は、前身である高知県立女子医学専門学校の開校（1945 年）を「基」ととらえ、2015 年、創基 70 周年を迎えた。創基 70 周年を記念して、健康栄養学部では下記の特別公開講座を開催した。

公開講座テーマ：ロコモティブシンドロームと栄養

開催日時：平成 28 年 9 月 18 日（日）13：00～15：00

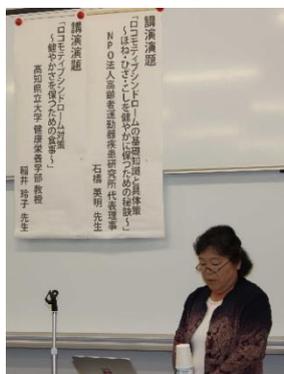
開催場所：高知県立大学永国寺キャンパス A101 教室



（1）概要

ロコモティブシンドロームとは運動器症候群とも言われ、運動器の障害のために、移動機能の低下をきたした状態をいう。ロコモティブシンドロームが進行すると、要介護のリスクが高まるだけでなく、認知症のリスクも指摘されている。

一題目の講演では、NPO 法人高齢者運動器疾患研究所 代表理事、医療法人社団愛友会 伊奈病院整形外科部長 石橋英明先生から「ロコモティブシンドロームの基礎知識と具体策～ほね・ひざ・こしを健やかに保つための秘訣～」と題して、超高齢社会と運動器の健康の重要性、ひざ痛や腰痛の対策、ロコモティブシンドローム予防と運動そして栄養、についてご講演いただいた。講演の中で、「大きな古時計」の替え歌にあわせて行った正しいスクワットトレーニングを指導していただいた。



二題目の講演では、本学健康栄養学部の稲井玲子先生から「ロコモティブシンドローム対策～健やかさを保つための食事～」と題して、ロコモティブシンドローム予防に働く栄養素、筋肉を強くする食事と工夫の仕方、についてご講演いただいた。

（2）実績及び成果

参加人数は、外部者で 36 名であった。これに教員が 11 名の 47 名となった。講演後には、会場から、沢山の質問をいただき、市民の皆様のロコモティブシンドロームに対する関心の深さを感じさせられた。別紙にアンケートの集計と聴講者から得られた感想を記載した。



（3）課題

高知新聞に 2 回、高知市文化プラザカルポートやリハビリテーション関連の専門学校にも配布したが、台風前日の天候のせい、他のイベントに重なってしまったのか、あるいはシルバーウィーク中であったためか、来場者が少なかった。講演会の開催にあたり、今後は、広報の方法や内容についても検討したい。

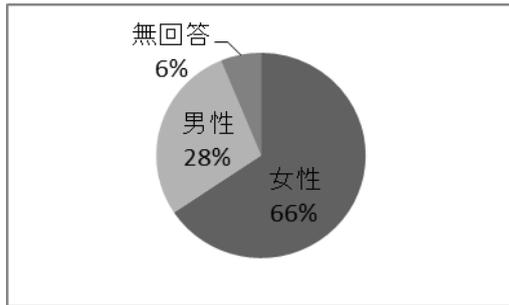
（4）その他

創基 70 周年記念事業の本講演会をきっかけに、今後も、高知県立大学健康栄養学部として、ロコモティブシンドローム予防についての啓発活動を続けたい。

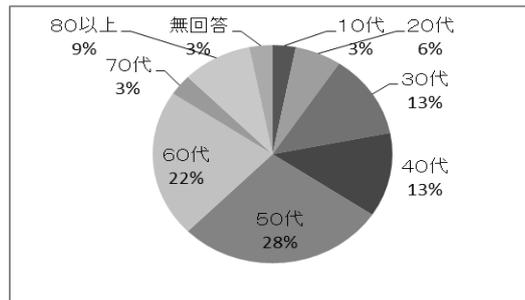
(5) アンケート結果

参加者 36人 回答者 32人 回収率 88.9%

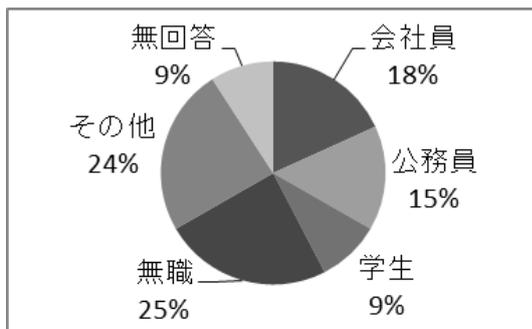
1. 性別



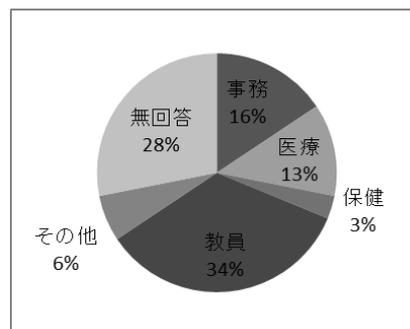
2. 年齢



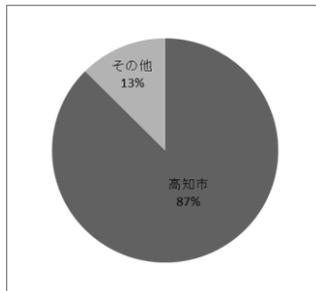
3. 職業



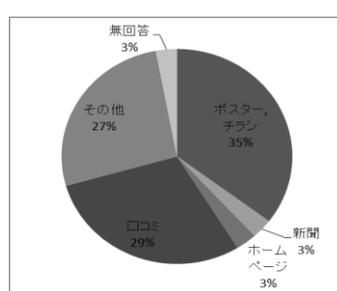
4. 職種



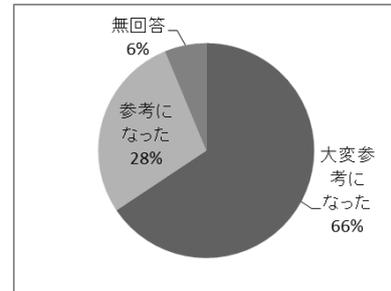
5. 住まい



6. 参加するきっかけの情報媒体



7. 講演について



8. 運営

会場：良い 78%， 普通 9%， 無回答 13%

開催時期：良い 91%， 普通 9%

開催時間：良い 78%， 普通 22%

時間の長さ：良い 75%， 普通 22%， 悪い 3%

9. 意見・感想

- こんな素晴らしいお話を聞く人が少なくもったいなかった。もっと多くの人に知らせる方法はなかったかと思います。
- 大事なエキス部分をわかりやすく教えていただきました。今後もこのような講座をお願いします。
- 医学的知識があまりない方に、どのように伝えたらよいか、とっても参考になりました。ポイントが押さえられており、わかりやすかったです。栄養のお話は図が多くて見やすかったです。
- ロコモ古時計を体験してスクワットの正しい方法が分かりました。食生活に関してロコモに負けない筋肉づくりにはカルシウム、たんぱく質、ビタミンD、ビタミンKなどを意

識して摂取することが大切だと学びました。

- ・ありがとうございました。
- ・自分が足腰の筋肉の衰えを感じているときでしたので、今日の話は大変参考になりました。教えてもらった exercise を生活の中にとり入れていきたいと思います。
- ・大変参考になりました。
- ・シンギングスクワット等、たいくつな日常の運動を楽しく行うことで苦なく毎日続けられると思いました。
- ・具体的なお話でとてもわかりやすく、役に立てられる内容で興味深かったです。自分たちも気をつけながら、あとは、50年60年生きてきた親の生活習慣をいかに変えてもらえるか、いやみなく伝えられるか、考えていきたいなと思いました。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・この公開講座方式はよい手段だと思います。
- ・貴校創基 70th 記念にふさわしいイベントだと感じました。できれば毎年創基記念講座を開催されたく思います。
- ・2035頃までは高知県も高齢化社会、この食事と運動のリンクの重要性について多くの県民に理解させるべきです。本人のためにも社会保障の額の減額のためにも。
- ・人間の生活を豊かにするための基礎となる重要なお話が聞けて感謝しております。しかし、この話を本当に必要としている県民に行きわたらない事がとても残念に思います。この知識を必要とする人の元へとどけるための仕組みが要るのではないですか。県市町村の（社会福祉協議会など）仕組みがあります。どうか、このインフラを活用してこの知識をたっぷり県民に行き渡らして欲しいこと切にお願いするしだいです。
- ・いいお話でした。しっかりスクワットできたえましよう。
- ・わかり易いご説明で講義を受けることができ、いい機会を頂きました。このように素晴らしい講師の先生がおいでで頂いているので、もう少し聴講者がいればと残念（お天気が不安定であったこともあり）もう少し PR で知っていたら・・・と思います。
- ・とても楽しく、わかりやすいロコモティブシンドロームの話を聞かせていただいて日々の業務に生かせたらと思っています。ありがとうございました。
- ・今まで知ることができなかった、栄養、運動、食事のこと、たくさんの方に話をきくことができました。特に最後の一緒に食べるということは大切なことだとたいへん印象に残りました。とても良いお話が聞けて、本当に充実した講演会でした。ありがとうございました。
- ・ロコモティブシンドロームについてわかりやすくご説明下さりありがとうございました。
- ・石橋先生、ロコモ古時計のスクワットが分かりやすくていいと思いました♪日頃気を付けていくことなど知ることが出来て良かったです。ありがとうございました。
- ・稲井先生、食生活にも気を付けて摂るとよいもの、バランス、たんぱく質をとることなど勉強になりました。組み合わせを考えた食生活を心がけていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・両親を連れてくれば良かったと思いました。楽しく勉強できました。

17. 委員会一覧

委員会名	担当者	委員会名	担当者
教育研究審議会	村上尚	健康管理センター運営委員会	稲井玲子
部局長会議	村上尚	大学案内・オープンキャンパス専門委員会	和田安彦
地域教育研究センター (AERU)			
地域教育研究センター一部会長会議	渡邊浩幸 (産官学 研究部会長)	総合情報センター運営委員会	竹井悠一郎
		図書部会	竹井悠一郎
共通教育部会	竹井悠一郎	情報処理部会	竹井悠一郎
生涯学習部会	渡邊浩幸	人権委員会	稲井玲子
キャリア支援部会	島田郁子	自己点検・評価運営委員会	村上尚
産官学研究部会	渡邊浩幸	FD 委員会	廣内智子
地域課題研究部会	渡邊浩幸	紀要編集委員会	廣内智子
教務委員会	西岡道子	災害対策プロジェクト委員	廣内智子, 隅田有公子
教職課程専門委員会	稲井玲子(栄養) 鈴木麻希子(家庭)		
健康長寿センター運営委員会	和田安彦, 荒牧礼子	創基 70 周年記念事業委員会	和田安彦
		学年担当教員	1 回生
2 回生	島田郁子, 沼田聡		
3 回生	鈴木麻希子, 田中守		
4 回生	和田安彦, 彼末富貴		
学生委員会	島田郁子		
国際交流センター運営委員会	渡邊浩幸		
学部	学部運営会議	村上尚, 稲井玲子, 和田安彦, 渡邊浩幸	
	学部教務委員会	村上尚, 西岡道子, 稲井玲子, 鈴木麻希子, 竹井悠一郎	
	研究倫理審査専門委員会	荒牧礼子, 和田安彦, 鈴木麻希子	
	自己点検・評価委員会	村上尚, 渡邊浩幸	
	動物実験審査委員	渡邊浩幸, 和田安彦	
	国家試験対策委員会	廣内智子, 隅田有公子	
	国際交流ワーキング	渡邊浩幸, 村上尚, 稲井玲子, 和田安彦, 荒牧礼子, 島田郁子, 竹井悠一郎	
	就職支援	渡邊浩幸, 川村真美	
	学部報編集委員	荒牧礼子, 彼末富貴	
	広報	彼末富貴	
	FD	廣内智子	
	医療センター包括連携委員	廣内智子	
	70 周年特別公開講座ワーキング	渡邊浩幸, 稲井玲子, 西岡道子	
臨地実習委員会	荒牧礼子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 廣内智子, 沼田聡, 隅田有公子		

18. 入学試験状況の概要(2017年度)

() 内：男子

区分	募集 人員 A (名)	志願者数 B(名)		受験者数 C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)	
		全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内	B/A	C/D	
推 薦	一般 県内	10	20 (3)	20 (3)	20 (3)	20 (3)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	2.0	2.0
	一般 全国	5	39 (5)	0	39 (5)	0	5 (1)	0	5 (1)	0	7.8	7.8
	合計	15	59 (8)	20 (3)	59 (8)	20 (3)	15 (3)	10 (2)	15 (3)	10 (2)	3.9	3.9
個 別	前期	25	73 (7)	8	67 (7)	7	28 (1)	1	23 (1)	1	2.9	2.4
社会人	若干 名	3 (2)	2 (1)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	0	1 (1)	0	—	3.0	
私費外国 人留学生	若干 名	2		2		1		1		—	2.0	
合計	40	137 (17)	30 (4)	131 (17)	29 (4)	45 (5)	11 (2)	40 (5)	11 (2)	3.4	2.9	

19. 進学説明会・本学訪問・365日オープンキャンパス状況

	進学説明会への参加回数	本学訪問学校数	365日オープンキャンパス来校生徒数
県内	8回	5校	3人
県外	2回	3校	17人
合計	10回	8校	20人

Ⅱ. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）
5. 就職状況の概要（2016年度）
6. インターンシップの実施状況
7. 学生の海外研修等
8. 卒業研究題目一覧
9. 学生の受賞
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県					
栃木県					
群馬県					
埼玉県				1	1
千葉県					
東京都			1		1
神奈川県					
新潟県					
富山県	1		1	2	4
石川県			1		1
福井県	1			1	2
山梨県					
長野県					
岐阜県				1	1
静岡県				1	1
愛知県	4	1	4		9
三重県		1			1
滋賀県				1	1
京都府			1		1
大阪府	2	3			5
兵庫県	6	1	4	7	18
奈良県					
和歌山県	1	2	2		5
鳥取県		4		1	5
島根県		1			1
岡山県	1	1	2		4
広島県	2	2	2	1	7
山口県	1				1
徳島県		3	3	2	8
香川県		5	2	2	9
愛媛県	3	3	2	1	9
高知県	15	14	15	15	59
福岡県					
佐賀県					
長崎県	1		1	1	3
熊本県					
大分県				2	2
宮崎県	1			1	2
鹿児島県		1			
沖縄県	1			1	2
中華人民共和国	1				1
合計	41	43	41	41	166

2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生 (名)
地域公衆栄養学 臨地実習	須崎福祉保健所	2016. 9. 26～9. 30	8
	高知市保健所	2016. 9. 26～9. 30	8
	中央東福祉保健所	2016. 9. 26～9. 30	8
	中央西福祉保健所	2016. 9. 26～9. 30	6
	幡多福祉保健所	2016. 9. 26～9. 30	4
	安芸福祉保健所	2016. 9. 26～9. 30	7
給食経営管理臨地実習	高知医療センター	2016. 8. 29～9. 2	21
		2016. 9. 12～9. 16	20
臨床栄養学臨地実習 I	高知医療センター	2017. 2. 6, 2. 13～2. 17	21
		2016. 2. 6, 3. 6～3. 10	20
臨床栄養学臨地実習 II	高知医療センター	2016. 2. 20～2. 28	21
		2016. 3. 13～3. 17	20
地域実践栄養学 臨地実習	潮江双葉園(保育園)	2016. 5. 9～5. 12, 16	2
	細木病院	2016. 5. 16～5. 20	1
	高知大学医学部付属病院	2016. 5. 23～5. 27	2
	とさの里(介護施設)	2016. 5. 23～5. 27	2
	近森病院	2016. 5. 23～5. 27	2
	高知聖園ベビーホーム(乳 児院)	2016. 6. 13～6. 17	1
	陸上自衛隊高知駐屯地	2016. 6. 27～7. 1	1
教育実習(栄養教諭)	南国市立十市小学校	2016. 6. 6～6. 17	2
	南国市立後免野田小学校	2016. 6. 6～6. 18	1
	南国市立岡豊小学校	2016. 6. 6～6. 17	1
	高知市立国府小学校	2016. 6. 6～6. 17	1
	南国市立長岡小学校	2016. 6. 13～6. 24	1
介護等体験	IMC デイサービス高須	2016. 8. 15～8. 19	1
	IMC デイサービス高須	2016. 10. 3～10. 7	1
	デイサービスセンター 野いちご南国	2016. 10. 3～10. 7	1
	IMC デイサービス高須	2016. 11. 7～11. 11	1
教育実習(家庭科)	兵庫県立豊岡高等学校	2016. 5. 23～6. 10	1
	高知県立西高等学校	2016. 6. 6～6. 24	1

3. 資格取得状況の概要

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	教員免許	
		栄養教諭一種	家庭 中学校教諭一種・高等学校教諭一種
41	41	6	2

4. 国家試験の合格者状況（新卒者）

受験年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度
国家試験回数	第31回	第30回	第29回	第28回
受験者数（名）	41	39	41	38
合格者数（名）	38	31	39	37
合格率	92.7%	79.5%	95.1%	97.4%

5. 就職状況の概要

		人数
管理 栄養士 ・ 栄養士	病院	8
	委託	4
	福祉施設	8
	公務員	1
	幼稚・保育園	2
	栄養職員	1
	教員 栄養教諭	2
教員 家庭科	1	
薬局		6
食品製造		2
量販店		1
料理教室スタッフ		1
一般企業		4
卒業生数		41

6. インターンシップの実施状況

(単位：名)

1回生	2回生	3回生	4回生
0	5	0	0

7. 学生の海外研修等

協定校	国名	交流日	交換人数
ヴェネチアカ・フォスカリ大学	イタリア	2016.9.1～9.23	2回生(他学部3名)
エルムズ大学	アメリカ合衆国	2016.2.19～3.5	1回生2名(他学部7名)
サバ大学	マレーシア	2016.3.5～3.16	2回生1名, 1回生8名

8. 卒業研究題目一覧

() : 氏名, 研究室名

1. デイサービス給食における食肉軟化剤導入の試み (上岡茉由・森野由加奈 給食経営管理)
2. 手づくりキッチンのお弁当ニーズ調査 (西美佳・宮道舞 給食経営管理)
3. 手づくりキッチンにおける衛生面、安全面での課題 (山中麻衣 給食経営管理)
4. 料理カード作成のための市場調査 (波田みのり 公衆栄養学)
5. 高校生における野菜摂取の現状 (山本絢乃 公衆栄養学)
6. 高校生における野菜摂取の認識と野菜摂取方法の傾向について
(岩元千扇・坂本和香 公衆栄養学)
7. 児童の健診結果に基づく肥満度別にみた血液検査値と生活習慣について
(伊藤千尋 公衆栄養学)
8. 学童中期への食事介入が口腔ケア意識の改善につながるか(池果音・小野舞流 臨床栄養学)
9. 柑橘類含有成分オーラプテンは動脈瘤形成を抑制する(中田拓哉・成田小百合 臨床栄養学)
10. 茶の抗菌効果について (木下公美子 病態学)
11. 様々な洗浄・消毒方法によるふきんの除菌効果 (杉沢江里子 病態学)
12. 電子レンジ加熱によるおにぎりの静菌効果 (廣島まりん 病態学)
13. 牛乳の低アレルゲン化とその利用 (小松美沙希 病態学)
14. 大学生における自転車使用の実態と事故要因の分析 (松本玲奈 健康生態学)
15. 効果効能を謳う食品の購買行動に影響を与えるヘルスリテラシー (松原愛 健康生態学)
16. 災害時に適用可能な蓄圧式噴霧器を用いた手洗い法における洗浄効果と節水性の検討
(浦川美保 健康生態学)
17. 大学生におけるカフェイン摂取の実態と影響要因 (田原真生 健康生態学)
18. 大学生の歯科保健に関する過去の教育と現在の意識と行動 (山田彩加 健康生態学)
19. スジアオノリに含まれる食物繊維の構成糖について (川本茜 食品科学)
20. 海洋深層水によるビタミンCの保護効果 (高橋茉衣 食品科学)
21. マウス肝細胞培養時の培地中の各種アミノ酸がメチル基転移酵素群の
遺伝子発現に及ぼす影響 (谷本佳史 食品科学)
22. 各種穀粉への生姜添加が焙焼後の食感に及ぼす影響 (南沙知 食品科学)
23. 食用カンナを利用した肉牛飼料用サイレージの成分特性 (宮本綾 食品科学)
24. 児童における生活習慣アンケートと成績の関連性 (平成 26 年度)
(藤山直子・三木惇可 栄養教育論)
25. 児童における生活習慣アンケートと成績の関連性 (平成 27 年度)
(小瀬戸大貴・堀真楠実・町田歩乃香 栄養教育論)
26. 翻訳開始因子 eIF3 p110 の *in vitro*でのアルギニンメチル化の検討 (高須賀麻美 栄養学)
27. 卵白アレルゲン L-PGDS の超高感度測定法の開発 (石田千佳 栄養学)
28. 加工食品添加無機リンの定量法の開発 (山下成実 栄養学)
29. 追熟前後におけるアボカドの葉酸含量 (今西友梨花 調理学)
30. 加熱調理による小松菜の葉酸含量 (式地麻湖 調理学)
31. 加熱調理によるブロッコリーの部位別葉酸含量 (上原志緒梨 調理学)
32. 熱湯処理の有無による鯖味噌煮のビタミン B₁₂ 含量 (猪野可南子 調理学)
33. 調理方法の違いによるいわしフライのビタミン B₁₂ に及ぼす影響 (大江亜矢子 調理学)

9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2017. 1. 12	4 回生	上岡茉由, 成田小百合, 宮道舞	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプの開催にあたり、1 回生時より毎年サマーキャンプの開催 2 ヶ月以上前から 1 型糖尿病などに関する勉強会を重ね、サマーキャンプ中の食事の献立説明文を作成するなど、自主的に活動してきた。今年度はさらに、期間中の企画として料理教室を準備し、開催した。活動を通じて、子どもたちから信頼され、また会いたいと言われるなど、評価を得ている。
	3 回生	清水幹生	イケあい地域災害学生ボランティアセンターのリーダーとして、熊本地震後の救護活動に参加するなど種々の方面に積極的に活動している。また、今年度の公立大学学生大会に、本学を代表して参加し、学長の方々の議論、交流を積極的に行った。その結果、九州の大学教員や学生から、「発災前からこんなに防災に力を入れて活動していることは素晴らしい。高知県で震災が発生した際にはぜひ高知県のために動いてほしい。」と高く評価を受けた。
(社) 全国栄養士養成施設協会 会長 2017. 3. 21	4 回生	杉沢江里子	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。

10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2016. 6. ~ 2017. 3	学生プロジェクト立志社中 「それいけ！大野見エコ米 ～No Rice No Life～」	田中守, 沼田聡	パンフレット作成、地域との交流等を通じて中土佐町大野見地区の地域活性化を目指す。
2016. 6. 11	土佐まるごと社中第 21 回定例会・4 周年記念プレゼン大会	沼田聡, 田中守	高知県内において実際に展開されている様々な産学官民連携や地域活性化の取り組みの紹介及び他大学の取り組みについて学び、意見交換した。取り組みの紹介は 立志社中プロジェクト、COME☆RISH 代表の野本友華が行った。
2016. 11. 17 ～19	第 5 回ものづくり総合技術展	渡邊浩幸, 川村真美, 彼末富貴	高知県・公益財団法人高知県産業振興センター（ものづくり地産地消センター）主催。健康栄養学部こめっ娘。による米粉のカステラの試食を実施。
2017. 2. 19	第 1 回こうなん地元学講座 「香南野菜を再発見！高知県立大学生の地域学実習発表会」	島田郁子, 沼田聡	学校給食用の香南野菜の情報発信やニラ、しょうが、山北ミカンを使用したレシピ考案。
2017. 3. 1	香南市食育事業 親子食育教室	島田郁子, 沼田聡	学生企画による離乳食等についての講話および香南市特産物を用いた簡単な料理の紹介・試食

Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚
2. 稲井 玲子
3. 和田 安彦
4. 渡邊 浩幸
5. 荒牧 礼子
6. 鈴木 麻希子
7. 西岡 道子
8. 島田 郁子
9. 竹井 悠一郎
10. 廣内 智子
11. 隅田 有公子
12. 田中 守
13. 沼田 聡
14. 彼末 富貴
15. 川村 真美

学部長 教授 村上 尚 (MURAKAMI Takashi)

I. 教育活動

【学部】

- ・人体の構造と機能 I
- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

II. 委員会活動

1. 健康栄養学部長
2. 公立大学協会生活科学・環境学系部会副部会長
3. 高知県立大学教育研究審議会委員
4. 高知県立大学部局長会議構成員
5. 高知県立大学動物実験委員会委員長
6. 高知県立大学研究倫理委員会委員
7. 高知県立大学入学試験委員会委員
8. 高知県立大学自己点検・評価運営委員会委員
9. 高大接続改革を軸とする大学改革プロジェクト委員会委員
10. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会委員
11. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会副部会長
12. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康長寿・地域医療連携部会構成員
13. 高知県立大学健康栄養学研究倫理審査委員会委員
14. 運営委員 (学部)
15. 国際交流ワーキング委員 (学部)

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会本部評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員
5. 高知県衛生研究所研究協議会委員

I. 教育活動

【学部】

- ・栄養教育論 I
- ・栄養教育論 III
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II
- ・学校栄養指導論 I
- ・学校栄養指導論 II
- ・教育実践演習 (栄養)
- ・学校栄養教諭教育実習
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)

【非常勤】

- ・福山平成大学 健康スポーツ学部 健康と栄養

II. 研究活動

【著書】

1. 稲井玲子, 中山玲子, 廣瀬潤子, 赤松理恵, 北村真理, 宮崎由子, 永井成美, 上田由喜子, 岡本秀秀己 (2016) 新 食品・栄養科学シリーズ栄養教育論 (第5版), 3章 p 49-80. 5章 p 95-118. 9章 p 117-232. (株)化学同人, 京都.

【学会発表】

1. 檜垣俊介, 多賀昌樹, 佐藤かおり, 稲井玲子. 玄米麹菌発酵食品の食品への利用の一考察, 日本食育学会第 11 回大会, 大阪 (2016. 6. 26.)
2. 森 博史, 檜垣俊介, 林 浩文, 野田哲由, 安藤宏幸, 稲井玲子. 小学生の成績と生活要因との関連についての検討 第 2 報 学年別の成績と生活要因の関連の傾向, 日本食育学会第 11 回大会, 大阪 (2016. 6. 26.)
3. 安藤宏幸, 檜垣俊介, 林 浩文, 野田哲由, 森 博史, 稲井玲子. 小学生の成績と生活要因との関連についての検討 第 1 報 小学生全体の傾向について, 日本食育学会第 11 回大会, 大阪 (2016. 6. 26.)

【その他】

1. 稲井玲子 多賀昌樹 (2016) 日本食育学会第 11 回大会 大会冊子.
2. 稲井玲子 多賀昌樹 (2016) 日本食育学会第 4 生活リズムと食のセミナー 冊子.

III. 委員会活動

1. 評議員
2. 運営委員
3. 教職課程専門委員会 (栄養)
4. 健康管理センター運営委員会
5. 人権委員会
6. 学部運営委員会
7. 学部教務委員会
8. 国際交流 WG
9. 70 周年記念特別公開講座 WG
10. 教員免許更新 WG

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本食育学術会議・理事長
2. 日本栄養食糧学会・中四国・参与
3. 日本機能性食品医用学界・評議員
4. 平成 29 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試審査問題・委員
5. 高知県食育推進委員
6. 高知県健康長寿推進委員
7. 南国市立十市小学校食育委員

【講演・講習会】

1. 南国市立十市小学校 校内研修会講師「食育スーパースクール研究の方向性について」
2016 年 5 月 25 日
2. 食育スーパースクール・南国市立十市小学校食育委員会講師「食育スーパースクール研究の方向性について」
2016 年 6 月 21 日
3. 日本食育学術会議第 13 回大会 総括 2016 年 6 月 18 日 19 日
4. 南国市立十市小学校 校内研修会講師「食育スーパースクール研究における一部の調査結果」
2016 年 6 月 29 日
5. 南国市立十市小学校 高知県よさこい委員会講師「食育スーパースクール研究における一部の調査結果」
2016 年 6 月 30 日
6. 南国市立十市小学校 校内研修会講師「食育スーパースクール研究における調査結果」
2016 年 8 月 25 日
7. 70 周年公開講座 高知県立大学健康栄養学部 講師「ロコモティブシンドローム」
2016 年 9 月 18 日
8. 南国市立十市小学校 食育スーパースクール研究発表会講師「食育スーパースクール研究における結果から」
2016 年 10 月 19 日
9. 南国市立十市小学校 校内研修会講師「食育スーパースクール研究における結果報告」
2016 年 11 月 29 日
10. 南国市立十市小学校 校内研修会講師「食育スーパースクール」
2016 年 11 月 30 日
11. 日本食育学術会議第 4 回・生活リズムと食育セミナー（愛知みずほ短期大学）総括
2016 年 12 月 3 日

【その他】

1. 平成 29 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試審査問題の調査研究の結果報告 研究員 2016 年 7 月 14 日
2. 平成 29 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試審査問題の調査研究の結果報告 研究員 2016 年 7 月 21 日

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・健康情報論実習
- ・地域健康論
- ・環境衛生学実習
- ・介護論 (オムニバス)
- ・食と介護 (実習) (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)

【大学院・人間生活学研究科 (博士前期課程)】

- ・栄養・生活特論 I
- ・栄養・生活特論 II
- ・栄養・生活統計論
- ・健康動態論
- ・栄養・生活課題研究演習

【大学院・人間生活学研究科 (博士後期課程)】

- ・健康動態学
- ・栄養・生活学特別研究 I, II

II. 研究活動

【論文】

1. Similarities and differences between coronary heart disease and stroke in the associations with cardiovascular risk factors: The Japan collaborative cohort study. (2017) Masaaki Matsunaga, Hiroshi Yatsuya, Hiroyasu Iso, Kentaro Yamashita, Yuanying Li, Kazumasa Yamagishi, Naohito Tanabe, Yasuhiko Wada, Chaochen Wang, Atsuhiko Ota, Koji Tamakoshi, Akiko Tamakoshi, The JACC Study Group. Atherosclerosis (in press).

【学会発表】

1. 大学生におけるカフェインに関する知識と摂取状況. 和田安彦, 勝股宥妃, 大崎 滯, 吉川千晴, 三宮晶子, 藤原礼子, 守屋望未. 第86回日本衛生学会, 旭川市 (2016. 5. 12)

III. 委員会活動

1. 健康栄養学研究倫理専門審査委員会 委員
2. 健康長寿センター運営委員会 副委員長
3. 高知県立大学創基70周年記念事業委員会 委員
4. 高知県立大学創基70周年記念誌専門委員会 委員
5. 広報専門委員会 委員
6. 学年担当 (4回生)
7. 大学院 学務委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本衛生学会 評議員
2. 日本職業・災害医学会 評議員
3. 日本産業衛生学会四国地方会 監事 (11月まで)
4. 日本産業衛生学会 代議員 (12月から)
5. 第27回日本産業衛生学会全国協議会 企画運営委員
6. 第61回中国四国合同産業衛生学会 企画運営委員・学会長
7. 高知出版学術賞審査委員会審査委員
8. 高知県食の安全・安心推進審議会委員
9. 高知県農林業基本対策審議会特別委員

【講演・講習会】

1. 和田安彦: 食と安全 ～ 受身の「安心」から根拠に基づく判断へ ～. 平成28年度 高知県立消費生活センター×高知短期大学連携講座「消費生活講座」, 高知県立大学教育研究棟, 2016年9月4日.

V. 研究助成

【学外】

文科省科学研究費(基盤研究(B)) : JACC Studyによる早世死亡マーカー探索のためのコホート内症例対照研究(平成26-28年度) (代表:玉腰暁子) (研究協力者) (文部省がんコホート研究: JACC Study 班員)

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学
- ・食品学実験Ⅱ
- ・食品衛生学実験（オムニバス）
- ・食材学
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ
- ・食品学実験Ⅰ
- ・食品衛生学（オムニバス）
- ・食品の栄養素と機能
- ・健康栄養学基礎（オムニバス）
- ・卒業研究

【大学院・人間生活学研究科（博士前期課程）】

- ・食品科学論Ⅰ
- ・食物科学論
- ・食品科学論Ⅱ
- ・食物科学実践演習

【大学院・健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- ・食品機能学

【非常勤】

- ・RKC調理製菓専門学校

II. 研究活動

【論文】

1. Anti-allergic effects of His-Ala-Gln tripeptide invitro and in vivo., Mamoru Tanaka, Hiroyuki Watanabe, Yoshinobu Yoshimoto, Hana Kozai &Takeaki Okamoto, Biosci Biotechnol Biochem, 1347-6947, 2016.
2. Isolation and Identification of Tyrosinase-Inhibition Active Compounds from *Diplomorpha sikokiana*, Aya Haniu, Takehiro Kashiwagi, Hiroyuki Watanabe, Takashi Watanabe, Yoshino Okamoto, Masanobu Suzuki and Chul-Sa Kim., Academia Journal of Medicinal Plants (AJMP), 4(8), 10-15, , 2016.
3. The evaluation of the synergistic effect of 3-(2,4-dihydroxyphenyl)propionic acid and L-ascorbic acid on Tyrosinase-inhibition., Xinyang Chen, Aya Haniu, Takehiro Kashiwagi, Hiroyuki Watanabe, Takashi Watanabe, Yoshino Okamoto, Masanobu Suzuki, and Chul-Sa Kim, Z. Naturforsch. Z Naturforsch C., 72(3-4), 119-121, 2017.

【著書】

1. 渡邊浩幸 (2016) 食品学総論（辻英明ら編集）第3版, p131-139. 講談社サイエンティフィック, 東京.
2. 渡邊浩幸 (2016) 食品学各論（小西洋太郎ら編集）第3版, p64-76. 講談社サイエンティフィック, 東京.
3. 渡邊浩幸 (2017) わかりやすい食品化学（吉田勉ら監修）, p128-146. 三共出版、東京.
4. 渡邊浩幸 (2017) 食べ物と健康 食品の科学（太田英明ら編集）, p132-138. 南江堂、東京.
5. 渡邊浩幸 (2017) 食べ物と健康 食品の加工増補（太田英明ら編集）, p165-168. 南江堂、東京.

【学会発表】

1. 田中守, 高橋拓也, 川村真美, 渡邊浩幸, 培地中の脂肪酸とグルコースが肝細胞のメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響, 第70回日本栄養・食糧学会大会、大阪 (2016. 05. 13-15)
2. 渡邊浩幸, 田中守, 田部大樹, 川村真美, 各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響, 第70回日本栄養・食糧学会大会、大阪 (2016. 05. 13-15)
3. 渡邊浩幸, 川村真美, 田中守, 各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響, 第37回日本肥満学会, 東京 (2016. 10. 7-8)
4. 渡邊浩幸, 田中守, 川村真美, 芳香性植物クロモジの機能性, 第23回未病システム学会学術総会, 福岡 (2016. 11. 5-6)
5. 渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡, 彼末富貴, 久次米由紀, 域学共生と産学連携, 第14回産学連携学会, 浜松市 (2016. 6. 16-17)

III. 委員会活動

1. 産官学研究部会 (部会長)
2. 地域課題研究部会 (委員)
3. 生涯学習部会 (委員)
4. 国際交流センター員 (委員)
5. 人間生活学研究科博士前期課程学位審査委員 (委員長)
6. 学部運営委員 (学部)
7. 就職担当 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 社団法人日本栄養食糧学会中国・四国支部長
3. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
4. 日本肥満学会会員
5. 土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当
6. 高知県事業診査アドバイザー (委員長)
7. 越知町まち・ひと・しごと創生推進会議 (委員)

【講演・講習会】

1. HACCP 管理者 HACCP 講座

V. 研究助成

【学外】

1. 2016年度学術研究助成基金助成金基盤研究(A): 「レアー・プランツのインベントリーと補完食品素材開拓のための活性評価の再構築」
2. 受託研究 (高知県立大学) : 食品の賞味期限と脂質酸化
3. 受託研究 (高知県立大学) : 牧野富太郎博士ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル

4. 平成 28 年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業：食用カンナの多分野活用の研究
5. 受託研究（高知県立大学）：生姜と体温上昇に関する研究

VI. 特許出願

1. スジアオノリの新規用途, Mgate Nlandu Roger, 池田光徳, 井上正隆, 神原咲子, 野嶋佐由美, 渡邊浩幸, 田中守.
2. クロモジ抽出物を含有する経口投与組成物, 渡邊浩幸, 田中守, 金哲史, 柏木丈弘, 篠原速都, 川北浩久, 岡本佳乃, 岡崎由佳, 鈴木大進.
3. 植物に由来する抗アレルギー剤, 田中守, 渡邊浩幸, 篠原速都, 川北浩久, 岡本佳乃, 岡崎由佳, 鈴木大進.

I. 教育活動

【学部】

- ・公衆栄養学 I
- ・公衆栄養学 II
- ・健康栄養学
- ・地域公衆栄養学実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習 (共担)
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・生活技術援助IV (社会福祉学部) (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

II. 研究活動

【論文】

1. Yoshiteru Akezaki, Mitsuru Kajitani, Koji Nagino, Reiko Aramaki: The effects of Hubbard tank hydrotherapy in patients who have undergone total hip arthroplasty. Rigaku ryoho Ehime 30: 71-76 (2016)
2. 辻陽子, 明崎禎輝, 出田めぐみ, 荒牧礼子: 非利き手による書字練習方法の検討-グリット線を用いた模写練習方法の有効性-, 日本職業・災害医学学会誌, Vol. 64, (2) 84-87 (2016)

【学会発表】

1. Reiko Aramaki: Analysis of dietary intake by lipid energy ratio stratification, Focus on young Japanese adult Women, 17th ICD GRANADA SPAIN(2016)
2. 荒牧礼子, 野々村瑞穂: 健康寿命の延伸に向けた百寿未病の会の取り組み, 第23回日本未病システム学会学術総会, 福岡, 2016年11月

【報告書】

1. 荒牧礼子 (2016) 保健福祉のあり方を考える啓発事業「知るほど得する食のおはなし」. p 004-008. 2016 活動報告, 高知県立大学健康長寿センター, 高知

III. 委員会活動

1. 健康長寿運営委員
2. 健康栄養学部研究倫理審査委員長 (学部)
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 国際交流ワーキング委員
5. 学部報編集委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本未病システム学会評議員

2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員
4. 日本栄養改善学会会員
5. 日本職業・災害医学会会員
6. 日本食育学会会員
7. 公益社団法人日本栄養士会会員
8. 公益社団法人高知県栄養士会会員
9. 土佐市プロジェクトメンバー
10. 第3次南国市食育推進会議委員
11. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会 監査

【講演・講習会】

1. 土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」講師 平成28年7月21日 土佐清水市下浦青年会館
2. 土佐清水市介護予防講演会「介護予防のためのイキイキ食生活」講師 平成28年7月28日 土佐清水市下川口市民センター
3. 健康のつどい健康講話「血液さらさらで若さを保つ」講師 平成28年8月29日 茨木市多世代交流センター
4. 健康長寿体験型セミナー「知るほど得する食のおはなし」講師 平成28年11月26日 香美市立中央公民館
5. 健康セミナー「野菜摂取が健康に与える影響について」講師 平成28年11月12日 名古屋市中区伊勢崎ビル
6. 健康のつどい健康講話「血液さらさらで若さを保つ」講師 平成29年2月16日 堺市八田寺会館
7. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成28年8月21日（日）、8月22日（月）
8. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成28年12月17日（土）、12月18日（日）

I. 教育活動

【学部】

- ・基礎栄養学
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・生化学 I (オムニバス)
- ・介護等体験 (家庭科)
- ・教育実習 I (家庭科)
- ・教育実習 II (家庭科)
- ・教職実践演習 (家庭科)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

II. 研究活動

【学会発表】

1. 鈴木麻希子, 山下成実, 渡邊浩幸, 沼田聡. 加工食品添加無機リンの定量法の開発. 第 36 回 食事療法学会, 高知市 (2017. 3. 5)

【報告書】

1. 鈴木麻希子 (2016) 加工食品添加無機リンの定量法の開発～リン摂取量と血中動態との関係解明に向けて～. p. 59-63. 日本食品化学研究振興財団 第 22 回 (平成 27 年度) 研究成果報告書, 公益社団法人 日本食品化学研究振興財団.

III. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. センター入試実施委員
3. 教職課程専門委員 (家庭科)
4. 教員免許状更新講習実施部会委員
5. 教員免許状更新講習 WG 委員
6. 学年担当 (2014 年度入学生)
7. 研究倫理審査委員
8. 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座実施委員
9. 人間生活学研究科 広報委員
10. 人間生活学研究科 教職課程専門委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本生化学会会員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員
6. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会会長
7. 高知県歯科保健対策検討会委員
8. 高知県歯と口の健康づくり基本計画検討会委員

【講演・講習会】

1. 土佐女子高校出前講座(高大連携)「鉄欠乏性貧血を予防・改善しよう」2016年6月14日
2. 家庭的保育の研修講義, 講師, 高知県教育委員会, 2016年8月20, 21日
3. 平成28年度家庭科教員免許更新講習(家庭科)講師, 高知県教育委員会, 2016年8月22日
4. 平成28年度生涯教育 基本研修会「栄養素の消化と吸収(代謝)」講師, 高知県栄養士会, 2016年9月3日
5. 職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて- 「生活習慣病の治療と予防」2016年9月17, 18日
6. 職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて- 「チームアプローチ II」2016年12月4, 17日

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 平成28年度 「新規卵白アレルゲン L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルゲン化」 110万円

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験 (旧カリ)
- ・調理科学実験 (新カリ)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

II. 委員会活動

1. 教務委員
2. 学部教務委員会
3. 大学創基 70 周年記念事業特別公開講座 WG
4. 教員免許状更新講習 WG

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会中国・四国支部監事
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員

【講演・講習会】

土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業 (土佐 FBC II) 講師 2016 年 9 月 30 日

I. 教育活動

【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食計画論
- ・給食経営管理実習 I・II
- ・給食経営管理臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・管理栄養士総合演習 II
- ・卒業研究

【非常勤】

- ・衛生法規 RKC 調理製菓専門学校 製菓衛生師科 (平成 28 年度～)

II. 研究活動

【論文】

1. 渡邊慶子, 沼田 聡, 島田郁子, 佐賀啓子, 田中 守. がん患者における食事摂取支援食導入による効果. 日本農村医学会雑誌, Vol.65 No.4 pp. 758-765 (2016. 11 発行).
2. 廣内智子, 島田郁子, 荻沼一男. 発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究—東日本大震災の食事画像分析から— . 日本災害食学会誌, Vol.4 No.2 (2017. 3 発行).
3. 島田郁子, 隅田有公子, 沼田聡. 地域に根差した食育活動を目指して—子育て応援団すこやかのおゆみ—. (報告)高知県立大学健康栄養学部研究紀要. 66 巻 pp. 19-23. (2016. 12)

【分担翻訳】

1. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 9-1 P1-2
2. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 9-3 P6
3. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 8-1 P6
4. (NPO 法人日本スポーツ栄養学会会員 HP 掲載
<http://www.jsna.org/news/news.html#news2015102801>)

【学会発表】

(1) 国際学会発表

1. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Keiko Watanabe, Takeaki Okamoto and Hiroyuki Watanabe. Development of a Soft meat for Elderly Using Meat softener. 17th International Congress of Dietetics, Granada, Spain (2016.9.9).
2. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Tomoko Hirouchi, Mamoru Tanaka, Chie Tokuhiro, Keiko Watanabe and Takeaki Okamoto. Making Recipes of Survival Food in Food Service Practicum of University Dietitian Course. 17th International Congress of Dietetics, Granada, Spain (2016.9.9).
3. Chie Tokuhiro, Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka and Kazuko Kitamura. Review of Evaluation Index for Nutrition Education -Case Study on Attitude and

Behavior of School Lunch Officials Regarding Utilization of Local Produce. 17th International Congress of Dietetics, Granada, Spain (2016. 9.9).

(2) 国内学会発表

1. 渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡, 彼末富貴. 域学共生と産学連携. 第14回産学連携学会, 浜松 (2016. 6.16-17).
2. 島田郁子, 上岡茉由, 西美佳, 宮道舞, 森野由加奈, 山中麻衣, 沼田聡. 高齢者給食における喫食率向上をめざした食肉軟化剤の導入. 第12回給食経営管理学会, 兵庫 (2016. 11.27).
3. 沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一. オボアルブミンに対する超高感度酵素免疫測定法開発への取り組み. 第49回日本栄養食糧学会中四国支部大会, 徳島 (2016. 11.12-13).
4. 篠田知佐, 島田郁子, 森田陽子. いのちを繋ぐ食を考える～熊本地震における日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) の活動報告と今後の課題～. 第30回高知県国保地域医療学会, 高知 (2017. 2.25).
5. 島田郁子, 篠田知佐, 森田陽子. 高知県における災害支援・受援活動を考える－熊本地震での日本栄養士会災害支援チームの活動から－. 第36回食事療法学会, 高知 (2017. 3.5)
6. 猪口一也, 島田郁子, 森田陽子, 下浦 佳之. 広域搬送拠点臨時医療施設 (SCU) における食事栄養管理の必要性について. 第36回食事療法学会, 高知 (2017. 3.5).
7. 田中守, 隅田有公子, 沼田聡, 島田郁子, 香西はな. 食物アレルギーモデルマウスのアレルギー症状に及ぼす食塩の影響. 第36回食事療法学会, 高知 (2017. 3.5).
8. 廣内智子, 島田郁子. 東日本大震災の避難所生活における食料供給の実態調査-東日本大震災の食事画像分析から-. 第36回食事療法学会, 高知 (2017. 3.5).
9. 安田春奈, 楠瀬和加奈, 吉松香絵, 坂本一美, 小谷小枝, 佐賀啓子, 十萬敬子, 廣内智子, 島田郁子, 沼田聡, 渡邊慶子, 山下元司. 高知医療センター・高知県立大学健康栄養連携部会の取り組み. 第36回食事療法学会, 高知 (2017. 3.5).

【報告書】

1. 島田郁子, 隅田有公子, 廣内智子 (2017) 日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) による熊本地震における災害支援活動に参加して. ふまにすむす第28号 p12-17.
2. 島田郁子 (2017) 平成28年熊本地震における災害支援活動について JDA-DAT 活動報告. 高知県栄養士会機関誌 栄養士佐はちきん 第37号 p12-13.
3. 島田郁子, 隅田有公子 (2017) JDA-DAT リーダースキルアップ研修および育成研修報告. 高知県栄養士会機関誌 栄養士佐はちきん 第37号 p14.

III. 委員会活動

1. キャリア支援部会 副部長
2. 学生支援委員
3. 国際交流 WG メンバー
4. 臨地実習委員会

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員

3. 土佐市学校給食センター建設工事基本設計及び実施設計委託業務に係る公募型技術提案審査委員
4. 南国市学校給食センター建設委員会委員
5. 高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員
6. 安芸市学校給食運営委員

【その他】

1. NPO 法人日本スポーツ栄養学会 国際交流委員会委員
2. 日本栄養士会災害支援活動（JDA-DAT リーダー）熊本県熊本市・益城町 平成 28 年 4 月 29 日～5 月 4 日
3. 日本栄養士会主催 第 36 回食事療法学会 広報委員会委員
4. 日本栄養士会主催 第 36 回食事療法学会 口頭発表（摂食・嚥下障害）座長

【講演・講習会】

1. 日本栄養士会研究教育事業部中国・四国ブロック研修会 主催者 2016 年 3 月 27 日
2. 大阪府八尾保健所管内特定給食研究会 「身近な食材で災害に備えよう！サバイバル飯」 2016 年 6 月 6 日
3. 高知県産業振興推進部 地産地消・外商課栄養成分表示研修 2016 年 6 月 24 日, 11 月 28 日, 2 月 9 日
4. 高知県高等学校保健会高吾支部研修会 講師 2016 年 11 月 2 日
5. 包括連携・健康栄養学部 FD 研修会 「熊本県地震災害支援活動について」 講師 2017 年 1 月 17 日
6. 高知県教育委員会事務局 幼保支援課 平成 28 年度南海トラフ地震対策研修会 講師 2017 年 2 月 6 日（高知市），2 月 20 日（安芸市）
7. 高知県栄養士会 教育研究事業部伝達講習会 熊本県地震災害支援活動について 講師 2017 年 3 月 22 日

【その他】

1. 第 1 回 香南地元学講座 香南市食育事業発表 香南市地産地消協議会 香南市のいちふれあいセンター 2017 年 2 月 19 日

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学 I
- ・臨床栄養学 II
- ・臨床栄養学 III
- ・臨床実践栄養学
- ・栄養学 (看護学科、オムニバス)
- ・卒業研究
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・食と介護 (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)

【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・人間栄養論 I (隔年)

II. 研究活動

【著書】

1. 竹井悠一郎、谷村綾子、竹谷豊 微量元素・ビタミン不足の評価 内分泌・糖尿病・代謝内科 2016;43(3):190-195.

【論文】

1. Takei Y, Tanaka T, Kent KC, Yamanouchi D. Osteoclastogenic Differentiation of Macrophages in the Development of Abdominal Aortic Aneurysms. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2016;36(9):1962-1971.
2. Tanaka T, Takei Y, Yamanouchi D. Hyperglycemia Suppresses Calcium Phosphate-Induced Aneurysm Formation through Inhibition of Macrophage Activation. *J Am Heart Assoc.* 2016;4(3):e003062.

【学会発表】

1. 竹井悠一郎、池果音、小野舞流、中田拓哉、成田小百合 口腔ケアを目的とした学童中期への間食の指導 第36回食事療法学会 高知 (2017. 3. 4-5)
2. 竹井 悠一郎、田中 照佳、山之内 大 糖尿病時高血糖が動脈における破骨細胞形成を阻害し、動脈瘤形成を抑制する 第49回日本栄養・食糧学会中国・四国支部会 徳島 (2016. 11. 12-13)
3. 入江泰正、南崎明子、中尾裕子、Faisal Ahmed、岡広陽、竹井悠一郎、吉子裕二 骨芽細胞は基質小胞を介して miR-125b を輸送し、Prdm1 を標的として破骨細胞の形成を抑制する 第34回日本骨代謝学会、大阪 (2016. 7. 20-23)

III. 委員会活動

1. 共通教育部会
2. 総合情報センター運営委員会
3. 図書部会
4. 情報処理部会
5. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会
6. 遺伝子組換え実験安全委員会
7. 学部教務委員会
8. 国際交流 WG

9. 臨地実習委員会

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 日本栄養士会会員
4. 高知県栄養士会会員
5. 日本骨代謝学会会員
6. 日本歯科基礎医学会会員
7. フードサイエンスフォーラム会員

【講演・講習会】

1. 土佐塾高等学校校ワnデーセミナー2016（出張講義）「健康栄養学部で学ぶこと 経験できること」2016年6月18日

【その他】

1. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業「第5回慢性腎疾患（CKD）料理教室」 2016年8月27日

V. 研究助成

【学外】

1. 平成28年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業：食用カンナの多分野活用の研究 共同研究者
2. 受託研究（高知県立大学）：生姜と体温上昇に関する研究 共同研究者

I. 教育活動

【学部】

- ・ 臨床栄養学実習 I
- ・ 臨床栄養学実習 II
- ・ 臨床栄養学臨地実習 I (共担)
- ・ 臨床栄養学臨地実習 II (共担)
- ・ 臨床実践栄養学 (共担)
- ・ 地域実践栄養学臨地実習 (共担)
- ・ 管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・ 土佐の食と健康 (共通教養) (オムニバス)
- ・ チーム形成論 (共通教養) (共担)
- ・ 専門職連携概論 (共通教養) (共担)
- ・ 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

【論文】

1. 廣内智子, 島田郁子, 荻沼一男 (2017) 発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究—東日本大震災の食事画像分析から—. 日本災害食学会誌, 1 (2), 79-93.

【学会発表】

1. 廣内智子, 島田郁子. 東日本大震災の避難所生活における食料供給の実態調査, 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)
2. 安田春奈, 楠瀬和佳菜, 吉松香恵, 坂本一美, 小松小枝, 佐賀啓子, 十萬敬子, 廣内智子, 島田郁子, 沼田聡, 渡邊慶子, 山下元司. 高知医療センター・高知県立大学健康栄養連携部会の取り組み, 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)
3. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Keiko Watanabe, Takeaki Okamoto, Hiroyuki Watanabe. DEVELOPMENT OF A SOFT MEAT FOR ELDERLY USING MEAT SOFTENER. 17th International Congress of Dietetics. Spain (2016. 9. 9)
4. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Tomoko Hirouchi, Mamoru Tanaka, Chie Tokuhiko, Keiko Watanabe and Takeaki Okamoto. Making Recipes of Survival Food in Food Service Practicum of University Dietitian Course. 17th International Congress of Dietetics. Spain (2016. 9. 9)

【報告書】

1. 廣内智子 (2016) SP 養成講座, 平成 28 年度高知県立大学健康長寿センター2016 活動報告書, p 20-21
2. 廣内智子, 竹井悠一郎, 隅田有公子 (2016) 慢性腎臓病 (CKD) 料理教室, 平成 28 年度高知県立大学健康長寿センター2016 活動報告書, p 65-71
3. 島田郁子, 隅田有公子, 廣内智子 (2016) 日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) による熊本県地震における災害支援活動に参加して, ふまにすむす第 28 号 p 12-17

III. 委員会活動

1. 紀要編集委員
2. FD 委員
3. 災害対策プロジェクト委員
4. 男女共同参画プロジェクト委員
5. 管理栄養士国家試験対策委員
6. 包括連携連絡委員
7. 臨地実習委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県栄養士会生涯教育委員
2. 社団法人日本栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会会員
4. 日本臨床栄養学会会員
5. 日本病態栄養学会会員
6. 日本静脈経腸栄養学会会員
7. 日本栄養・食糧学会会員
8. 日本災害食学会会員
9. 日本栄養改善学会会員
10. 日本咀嚼学会会員
11. 日本重症心身障害学会会員
12. 日本公衆衛生学会会員
13. 第36回食事療法学会実行委員

【講演・講習会】

1. 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」2016年6月2日,11月2日
2. 高知県学校栄養士会研修会「災害時の栄養管理の重要性について」サンピア2016年5月13日
3. 高知県立高知農業高等学校出前講座「巨大地震に備え今すべき食糧備蓄」2016年6月23日
4. 土佐清水市立足摺岬小学校出前講座「土佐の特産品とその歴史」2016年7月15日
5. 吾川郡学校給食研修会講師「災害時の栄養管理－災害食を作ってみよう－」2016年7月22日
6. 四万十町教育委員会 健康・食育部会研修会講師「災害時の栄養管理の重要性について」四万十町役場東庁舎 2016年8月2日
7. 生涯学習部会「公開講座第1回」南海地震に備え今すべき食支援, 非常食・災害食の話, 土佐町保健福祉センター 2016年9月8日
8. 生涯学習部会「公開講座第2回」健康的な食事とダイエット方法等食生活に関する講座, 土佐町保健福祉センター 2016年9月15日
9. 香南市教育委員会研学校給食部会修会講師「避難場所として学校が果たす役割」香南学校給食センター 2016年10月12日
10. 高知北高等学校出前講座「巨大地震に備え今すべき食料備蓄」2016年12月16日
11. 子育て出前講座「育児のポイントや食育等」高知銀行本店 2016年12月17日
12. 高知高校出前講座「巨大地震に備え今すべき食料備蓄」2017年2月8日
13. 平成28年度南海トラフ地震対策研修会講師「地震災害発生時における栄養・給食・防災食」高知県人権啓発センター, 2017年2月16日
14. 職業実践力育成プログラム(BP)講座 2017年2月18日

【その他】

高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業 「第5回慢性腎疾患(CKD)料理教室」平成28年8月27日

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究(B):平成28-29「発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究－東日本大震災の食事画像分析から－」
2. 科学研究費補助金 基盤研究(C):平成24-28「大規模自然災害に備えた大学による地域住民支援システムの構築」分担研究

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学実習 I (補助)
- ・臨床栄養学実習 II (補助)
- ・地域公衆栄養学実習 (補助)
- ・食と介護 (実習) (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 I (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 II (補助)
- ・地域公衆栄養学臨地実習 (補助)
- ・地域実践栄養学臨地実習 (補助)
- ・管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・臨床実践栄養学 (補助)
- ・管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

【論文】

1. 島田郁子, 隅田有公子, 沼田聡 (2016) 地域に根差した食育活動 - 子育て応援団すこやか
のあゆみ -. 高知県立大学紀要 健康栄養学部編, 第 66 巻, p19-23.

【学会発表】

1. 田中守, 隅田有公子, 沼田聡, 島田郁子, 香西はな. 食物アレルギーモデルマウスのアレルギー症状に及ぼす食塩の影響, 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)

【報告書】

1. 島田郁子, 隅田有公子, 廣内智子 (2017) 日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) による
熊本県地震における災害支援活動に参加して. ふまにすむす, 第 28 号, p12-17
2. 島田郁子, 隅田有公子 (2017) 日本栄養士会災害支援管理栄養士リーダー (JDA-DAT リー
ダー) スキルアップ研修および育成研修報告. 栄養士佐はちきん, 第 37 号, p14-15

III. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 災害対策プロジェクト委員
3. 管理栄養士国家試験対策委員
4. 土佐市地域ケア会議推進プロジェクト委員
5. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人 日本栄養士会会員
2. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本静脈経腸栄養学会会員
6. 第 36 回食事療法学会実行委員

【その他】

高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業「第 5 回慢性疾患料理教室 慢性腎臓病 (CKD) 料理教室」2016 年 8 月 27 日

I. 教育活動

【学部】

- ・ 生化学実験 (補助)
- ・ 基礎栄養学実験 (補助)
- ・ 環境衛生学実習 (補助)
- ・ 運動生理学 (補助)
- ・ 健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・ 管理栄養士国家試験対策講座

【全学】

- ・ 地域学実習 I
- ・ 地域学実習 II (補佐)

【非常勤】

- ・ 高知情報ビジネス専門学校製菓製パン科 食品学

II. 研究活動

【論文】

1. 渡邊慶子, 沼田 聡, 島田郁子, 佐賀啓子, 田中守 (2016) がん患者における食事摂取支援食導入による効果. 日本農村医学会雑誌 **65**, 758-766.
2. 岡本威明, 田頭歩佳, 中野広輔, 加藤匡宏, 田中守 (2016) ヒト好酸球の走化成とケモカインレセプター発現に及ぼす不純物 PAA の影響. 愛媛大学教育学部紀要 **62**, 149-159.
3. M. Tanaka, H. Watanabe, Y. Yoshimoto, H. Kozai, T. Okamoto (2016) Anti-allergic effects of His-Ala-Gln tripeptide *in vitro* and *in vivo*. *Biosci Biotech Biochem* **81**, 380-383.
4. NR. Ngatu, M. Tanaka, MK. Okajima, M. Yokogawa, M. Ikeda, M. Inoue, H. Watanabe, S. Kanbara, S. Nojima, T. Kaneko, N. Suganuma (2016) Anti-allergic Effects and Immunomodulatory Activity of Sacran, a Bioactive Compound from River alga *Aphanothece sacrum*. *EMPH*, 2016; 2 e1438.
5. Y. Yoshimoto, Y. Ooyama, M. Tanaka, A. Sakamoto (2016) Toe functions have little effect on dynamic balance ability in elderly people. *J Phys Ther Sci*, **29**, 158-162.
6. 田中守, 岡本威明 (2016) ケモカイン受容体と好酸球増多筋痛症. アレルギーの臨床 **36**, 1364-1369.
7. 岡本威明, 平田璃奈, 田頭歩佳, 吉本好延, 香西はな, 田中守 (2017) His-Ala-Gln ペプチドがマウスの抗体産生に及ぼす影響. 四国公衆衛生学会雑誌, **62**, 63-70.
8. 田中守, 鈴木大進, 吉本好延, 香西はな, 岡本威明 (2017) 3種 *in vitro* 評価系を用いたポリフェノールの抗アレルギー活性評価について. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, **66**, 1-9.
9. NR. Ngatu, M. Ikeda, H. Watanabe, M. Tanaka, M. Inoue, S. Kanbara, S. Nojima (2017) Uncovering Adiponectin Replenishing Property of Sujiaonorori Algal Biomaterial in Humans, *Marine Drugs*, **15**, 32; doi:10.3390/md15020032.

【学会発表】

1. 渡邊浩幸, 田中守, 田部大樹, 川村真美. 各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響, 第 70 回 日本栄養・食糧学会大会, 兵庫 (2016. 5. 14)

2. 田中守, 高橋拓也, 川村真美, 渡邊浩幸. 培地中の脂肪酸とグルコースが肝細胞のメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響, 第 70 回 日本栄養・食糧学会大会, 兵庫 (2016. 5. 15)
3. 岡本威明, 黒下苗子, 田頭歩佳, 田中守, 岡野聡, 小林千悟. ビタミン E による骨代謝の制御, 日本家政学会第 68 回大会, 愛知 (2016. 5. 28-29)
4. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, K. Watanabe, T. Okamoto, H. Watanabe. Development a soft meat for elderly using meat softener. 17th International Congress of Dietetics, Spain (2016. 9. 7-10.)
5. I. Shimada, S. Numata, T. Hirouchi, M. Tanaka, C. Tokuhiko, K. Watanabe, T. Okamoto. Making recipes of survival food in food service practicum of university dietitian course. 17th International Congress of Dietetics, Spain (2016. 9. 7-10.)
6. C. Tokuhiko, I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, K. Kitamura. Review of evaluation index for nutrition education-case study on attitude and behavior of school lunch officials regarding utilization of local produce. 17th International Congress of Dietetics, Spain (2016. 9. 7-10.)
7. 田頭歩佳, 岡本威明, 平田璃奈, 田中守. 卵アレルギーモデルマウスにおける HAQ ペプチドの抗アレルギー効果, 第 63 回日本家政学会中国・四国大会, 愛媛 (2016. 10. 2.)
8. 渡邊浩幸, 川村真美, 田中守. 各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響, 第 37 回日本肥満学会, 東京 (2016. 10. 8.)
9. 渡邊浩幸, 田中守, 川村真美. 芳香性植物クロモジの機能性, 第 23 回日本未病システム学会学術総会, 福岡 (2016. 11. 5.)
10. 田中守, 岡本威明, 平田璃奈, 田頭歩佳, 吉本好延, 香西はな, 渡邊浩幸. His-Ala-Gln ペプチドが I 型アレルギーモデルマウスの抗体産生に及ぼす影響, 第 49 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 徳島 (2016. 11. 12.)
11. 谷本佳史, 田中守, 沼田聡, 川村真美, 渡邊浩幸. マウス肝細胞培養時の培地中の各種アミノ酸がメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響, 第 49 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 徳島 (2016. 11. 12.)
12. 香西はな, 伊藤彩華, 大西律子, 中根一恵, 渡邊章子, 田中守. 保育所給食のアレルギー対応における小麦代替品の提案, 第 12 回日本給食経営管理学会学術総会, 兵庫 (2016. 11. 27)
13. 田中守, 鈴木大進, 岡本威明, 竹井悠一朗, 渡邊浩幸. マウス脾臓リンパ球の抗体産生に及ぼすハマアザミの影響, 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5.)
14. 田中守, 隅田有公子, 沼田聡, 島田郁子, 香西はな. 食物アレルギーモデルマウスのアレルギー症状に及ぼす食塩の影響, 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5.)
15. 渡邊慶子, 安田春奈, 楠瀬和佳奈, 吉松香絵, 坂本一美, 小谷小枝, 佐賀啓子, 十萬敬子, 田中守, 山下元司. がん治療患者の食変化に対応したモニタリングチェックシートの開発と運用, 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5.)
16. 鈴木大進, 田中守, 岡本威明, 渡邊浩幸. ハマアザミ (*Cirsium maritimum* Makino) の抗アレルギー活性とその活性物質, 日本農芸化学会 2017 年度大会, 京都 (2017. 3. 18.)

【報告書】

1. 田中守 (2016) 迅速で簡便な抗アレルギー活性評価系の構築. 平成 27 年度高知県立大学「科研費」獲得支援助成事業実績報告書, 高知.

Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 学年副担任 (2014 年度入学生)
3. 国際交流ワーキンググループ
4. 立志社中運営委員会委員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本栄養食糧学会 中国・四国支部庶務幹事
3. 日本食品科学工学会会員
4. 日本公衆衛生学会会員
5. 公益社団法人日本栄養士会会員
6. 公益社団法人高知県栄養士会会員
7. 公益社団法人高知県栄養士会会員・生涯学習委員会メンバー
8. 日本家政学会会員
9. 日本未病システム学会会員

【講演・講習会】

1. 高知県立梶原高等学校出前講座 (高大連携) 「食事バランスの大切さについて」 2016 年 7 月 5 日
2. 高知県栄養士会生涯学習講師「栄養 (食物) と医薬品の影響」 2016 年 9 月 3 日
3. 高知県本山町教育委員会主催教育講座講師「食べ物と薬の組み合わせについて」 2016 年 9 月 15 日
4. 愛媛県立松山東高等学校出前講座 (高大連携) 「地域に根付いた食材・食文化～沢山ある高知の魅力～」 2016 年 10 月 20 日
5. 愛媛県立松山東高等学校出前講座 (高大連携) 「高知の食材・食文化～高知県内を探索～」 2016 年 12 月 10-11 日
6. 高知県立丸の内高等学校出前講座 (高大連携) 「食事バランスと体内時計」 2016 年 12 月 12 日

【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 分担研究 科学研究費補助金 基盤研究 (B) : 平成 26-28 年度「アグリフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築」 研究代表者: 高木万隆 (高知工科大学) 1,183 万円
2. 分担研究 科学研究費補助金 基盤研究 (C) : 平成 27-29 年度「新規卵白アレルゲン L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルゲン化」 研究代表者: 鈴木麻希子 (高知県立大学) 468 万円
3. 代表研究 科学研究費補助金 若手研究 (B) : 平成 28-30 年度「高知県に自生する未利用天然資源の機能性評価ー抗アレルギー活性を指標としてー」 364 万円
4. 分担研究 高知県産学官連携産業創出研究推進事業 (中期テーマ) : 平成 28-30 年度「食用カンナの多分野活用の研究」 研究代表者: 渡邊浩幸 (高知県立大学) 2,990.8 万円

5. 分担研究 受託研究（高知県立大学）：「牧野富太郎ゆかりの有用植物の活用に向けた農工商医連携基盤の構築と事業化モデル」研究代表者：渡邊浩幸（高知県立大学）50万円
6. 分担研究 受託研究（高知県立大学）：「生姜と体温上昇に関する研究」研究代表者：渡邊浩幸（高知県立大学）389.4万円

VI. 特許出願

1. スジアオノリの新規用途, Ngatu Nlandu Roger, 池田光徳, 井上正隆, 神原咲子, 野嶋佐由美, 渡邊浩幸, 田中守
2. 植物に由来する抗アレルギー剤, 田中守, 渡邊浩幸, 篠原速都, 川北浩久, 岡本佳乃, 岡崎由佳, 鈴木大進
3. クロモジ抽出物を含有する経口投与組成物, 渡邊浩幸, 田中守, 金哲史, 柏木丈拵, 篠原速都, 川北浩久, 岡本佳乃, 岡崎由佳, 鈴木大進

I. 教育活動

【学部】

- ・ 給食経営管理実習 I・II (補助)
- ・ 応用栄養学実習 (補助)
- ・ 環境衛生学実習 (補助)
- ・ 給食経営管理臨地実習 (補助)
- ・ 地域実践栄養学臨地実習 (補助)
- ・ 管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・ 卒業研究 (補助)
- ・ 管理栄養士国家試験対策講座 (給食経営管理分野)
- ・ 健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・ 地域学実習 I (共通教養科目)

【看護学部】

- ・ 栄養学 (オムニバス)

【非常勤】

- ・ 学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス専門学校 製菓製パン科 栄養学

II. 研究活動

【論文】

1. 渡邊慶子, 沼田聡, 島田郁子, 佐賀啓子, 田中守 (2016) がん患者における食事摂取支援食導入による効果. 日本農村医学会雑誌 65 (4), p758-65
2. 島田郁子, 隅田有公子, 沼田聡 (2017) 地域に根差した食育活動—子育て応援団すこやかのおゆみ—. 高知県立大学紀要健康栄養学部編 66, p19-23

【学会発表】

1. 渡邊浩幸、島田郁子、沼田聡、彼末富貴、久次米由紀. 域学共生と産学連携. 第14回産学連携学会, 静岡 (2016. 6. 17)
2. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka, Tomoko Hirouchi, Keiko Watanabe, Takeaki Okamoto, Hiroyuki Watanabe. Development of a soft meat for elderly using meat softener. 17 th International Congress of Dietetics, Granada (2016.9.9)
3. Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Tomoko Hirouch, Mamoru Tanaka, Chie Tokuhira, Keiko Watanabe and Takeaki Okamoto. Making Recipes of Survival Food in Food Service Practicum of University Dietitian Course. 17 th International Congress of Dietetics, Granada (2016.9.9)
4. Chie Tokuhira, Ikuko Shimada, Satoshi Numata, Mamoru Tanaka and Kazuko Kitamura. Review of Evaluation Index for Nutrition Education -Case Study on Attitude and Behavior of School Lunch Officials Regarding Utilization of Local Produce. 17th International Congress of Dietetics, Granada, Spain (2016. 9.9).
5. 谷本佳史, 田中守, 沼田聡, 川村真美, 渡邊浩幸. マウス肝細胞培養時の培地中の各種アミノ酸がメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響. 第49回日本栄養食糧学会中四国支部大会, 徳島 (2016. 11. 12)

6. 沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一. オボアルブミンに対する超高感度酵素免疫測定法開発への取り組み. 第 49 回日本栄養食糧学会中四国支部大会, 徳島 (2016. 11. 12)
7. 島田郁子, 上岡茉由, 西美佳, 宮道舞, 森野由加奈, 山中麻衣, 沼田聡. 高齢者施設における喫食率向上を目指した食肉軟化剤の導入. 第 12 回日本給食経営管理学会学術総会, 兵庫 (2016. 11. 27)
8. 沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一. 卵白アレルギーであるオボアルブミンに対する高感度酵素免疫測定法の開発. 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)
9. 田中守, 隅田有公子, 沼田聡, 島田郁子, 香西はな. 食物アレルギーモデルマウスのアレルギー症状に及ぼす食塩の影響. 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)
10. 鈴木麻希子, 山下成実, 渡邊浩幸, 沼田聡. 加工食品添加無機リンの定量法の開発. 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)
11. 安田春奈, 楠瀬和佳奈, 吉松香絵, 坂本一美, 小谷小枝, 佐賀啓子, 十萬敬子, 廣内智子, 島田郁子, 沼田聡, 渡邊慶子, 山下元司. 高知医療センター・高知県立大学健康栄養連携部会の取り組み. 第 36 回食事療法学会, 高知 (2017. 3. 5)

Ⅲ. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 立志社中実行委員
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 国際交流WG (学部)
5. 学年副担任 (2015 年度入学生)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 公益社団法人日本栄養士会会員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会研究教育事業部代表理事 (委託事業担当、災害対策担当)
4. 日本栄養食糧学会会員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 日本給食経営管理学会会員
7. 日本食品保蔵科学会会員
8. 日本農村医学会会員
9. 第 36 回食事療法学会運営委員

【講演・講習会】

1. 「ココプラ」開設一周年記念イベント シーズ・研究内容紹介ダイジェスト「みんなで作って食べる食育へ」2016 年 4 月 16 日
2. 公益社団法人高知県栄養士会生涯学習「栄養生理 栄養素と代謝」司会 2016 年 7 月 6 日
3. 土佐清水市立足摺岬小学校出前講座「土佐の特産品とその歴史」2016 年 7 月 15 日
4. 高知県立大学創基 70 周年記念特別講座「ロコモティブシンドロームと栄養」運営スタッフ 2016 年 9 月 18 日
5. 日本食品保蔵科学会主催「HACCP 管理者認定 HACCP ワークショップ」運営スタッフ 2016 年 9 月 28～30 日

6. 公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人高知県栄養士会主催「指導者のための健康栄養セミナー」運営責任者兼司会 2016年10月29日
7. 公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人高知県栄養士会「栄養指導セミナー」運営スタッフ 2017年1月7日
8. 第28回シーズ・研究内容紹介「みんなで作って食べる食育へ」2017年2月15日
9. 物部川土地改良区連合主催 第1回こうなん地元学講座「香南野菜を再発見！高知県立大学生の地域学実習発表会」指導教員 2017年2月19日
10. 公益社団法人 日本栄養士会医療事業部主催 「第36回食事療法学会」運営スタッフ（学術担当）2017年3月4～5日
11. 高知県栄養士会研究教育事業部伝達講習会 議事進行 2017年3月22日

【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者
2. 香南市地産地消推進協議会主催「香南市食育事業」2016年6月1日～継続中

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究 (B) : 平成27 - 28年度「卵白アレルギーに対する迅速な超高感度酵素免疫測定法の開発」
2. 科学研究費補助金 基盤研究 (C) : 平成27 - 29年度「新規卵白アレルギー L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルギー化」分担研究

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験 (新カリ)
- ・調理科学実験 (旧カリ)
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・健康情報論実習(オムニバス)
- ・土佐の食と健康 (ゲストスピーカー)

II. 研究活動

【論文】

彼末富貴, 三谷英子, 松崎淳子, (2017)高知の宴席文化「おきゃく」を伝承する, 高知県立大学紀要健康栄養学部編 第66巻, 11-17

【学会発表】

1. 彼末富貴 伝統料理の提供に向けてー調理方法の伝承についてー 第36回食事療法学会, 高知市 (2017年3月5日)
2. 渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡, 彼末富貴, 久次米由紀, 域学共生と産学連携, 第14回産学連携学会, 浜松市 (2016.6.16-17)

【その他】

1. 永尾朱美, 彼末富貴 (2016) 平成29年度版ファミリー日誌「銀ブロー」. 全国農林統計協会連合会 62-63, 261
2. 松崎淳子, 彼末富貴 (2016) うまいもんレシピ「鶏レバー」. 玉手箱 Vol. 99. (社福) 高知県社会福祉協議会, p6
3. 彼末富貴, 永野貴代美 (2017) うまいもんレシピ「新玉ねぎ」. 玉手箱 Vol. 102. (社福) 高知県社会福祉協議会, p6

III. 委員会活動

1. 学部広報委員
2. 学部報編集委員
3. 学年副担任 (2013年入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知市春野郷土資料館運営審議会委員
2. よい食生活をすすめるネットワーク役員
3. 土佐伝統食研究会会員
4. 公益社団法人日本栄養士会会員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 社団法人日本家政学会会員

7. 社団法人日本調理科学会会員

【講演・講習会等】

1. よい食生活をすすめるネットワーク「麴（こうじ）のはなし」講師 RKC調理製菓専門学校
2016年7月24日
2. 出前講座「魚の料理教室」講師 高知県立北高校 2016年8月2日
3. JAとさし女性部 すり身を使った料理教室（講義と実習）講師 JA北原婦人部ふれあいの家
2016年10月24日
4. 子ども自然体験教室「ゆず酢をつくってみよう」講師 高知県立牧野植物園 2016年11月13日
5. ふるさとの台所料理教室「蒸し鯛、さばずし他」講師 サニーマーケットキッチンプラス 2016年12月11日
6. 潮江東小学校5年「土佐の雑煮」の学習 講師 高知市立潮江東小学校 2016年12月19日
7. ソーレまつり2016 親子でご飯づくり「イカをさばいて炒め物をつくってみよう！」講師 こうち男女共同参画ソーレセンター 2017年1月28日

【その他】

1. 第5回ものづくり総合技術展 本学展示協力 高知市, 2016年11月17日(木)～19日(土)
2. 地域教育センター 地域課題研究部会 佐川町加茂地区における「食」等にかかわる事業についての協力

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学実験 I
- ・食品学実験 II
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II
- ・卒業研究

II. 研究活動

【学会発表】

国内学会

1. 渡邊浩幸, 田中守, 田部大樹, 川村真美. 各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響. 第70回日本栄養・食糧学会大会. 神戸(2016. 5. 14)
2. 田中守, 高橋拓也, 川村真美, 渡邊浩幸. 培地中の脂肪酸とグルコースが肝細胞のメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響. 第70回日本栄養・食糧学会大会. 神戸(2016. 5. 15)
3. 渡邊浩幸, 川村真美, 田中守. 各種食餌条件がマウスのうつ行動に及ぼす影響. 第37回日本肥満学会. 東京(2016. 10. 8)
4. 渡邊浩幸, 田中守, 川村真美, 芳香性植物クロモジの機能性, 第23回未病システム学会学術総会, 福岡 (2016. 11. 5-6)
5. 谷本佳史, 田中守, 沼田聡, 川村真美, 渡邊浩幸. マウス肝細胞培養時の培地中の各種アミノ酸がメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響. 第49回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会. 徳島(2016. 11. 12)

III. 委員会活動

1. 学部就職支援担当委員
2. 学部親交会運営委員
3. 学年副担任 (2016年入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 公益社団法人 日本栄養士会会員
5. 公益社団法人 高知県栄養士会会員

【その他】

1. 高知県立大学創基70周年記念 健康栄養学部特別講座「ロコモティブシンドロームと栄養」運営協力、高知市(2016. 9. 18)
2. 第5回ものづくり総合技術展 本学展示ブース準備運営協力スタッフ, 高知市(2016. 11. 17~19)
3. 平成28年度 高知CST養成プログラム実験補助. 高知CST養成センター主催. 高知市(2016. 8. 8)

高知県立大学健康栄養学部 学部報 第7号
平成28(2016)年度版

発行日：平成29年7月1日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

電話 (088) 847-8700(代)